

名古屋市交通局

Transportation Bureau City of Nagoya

市バス

地下鉄

令和7年7月

目次	1
【はじめに】	1
【名古屋市営交通事業経営計画 2028 の理念、安全方針、 コンプライアンス方針、接客方針、交通局人材育成ポリシー】	2
●市営交通事業のあらまし	3
●名古屋市営交通事業経営計画 2028	4
●令和7年度の予算	8
●令和7年度の取り組み	9
●お客さまから信頼される交通局をめざして	
・安全の確保のために	11
・災害に備えて	19
・接客サービスの向上	22
・事故防止・マナー啓発	25
●市バス・地下鉄の料金	26
●ICカード「manaカ」	28
●市バス	
・市バスのあらまし	31
・人と環境にやさしく	35
●地下鉄	
・地下鉄のあらまし	38
・人と環境にやさしく	43
・路線延伸の沿革	47
●資産の有効活用	48
●利用促進策の展開等	50
●広報・広聴	
・広報	53
・意見の聴取	54
・問い合わせ・お忘れ物	55
●市営交通を楽しむ	
・展示施設	55
・交通局オリジナルグッズ	56
●名古屋市交通局の組織	57
●交通局のあゆみ	58

はじめに

名古屋市の交通事業は、大正11年(1922年)に路面電車、昭和5年(1930年)に市バス、昭和32年(1957年)に地下鉄の営業を開始し、「市民生活」、「都市活動」を支える都市基盤として名古屋市の発展に寄与してきました。

現在では、市バスと地下鉄の一体的なネットワークにより、市民・利用者の皆さまの身近で利用しやすい交通手段として重要な役割を担っております。市バスは、市内全域に765kmのきめ細かな路線網を有する、機動性に優れた公共交通機関として、また、地下鉄は、6路線93kmの路線網により、高速で定時性を有する、大量輸送が可能な基幹的交通機関として、あわせて毎日約157万人の皆さまにご利用いただいています。

交通局では、法令を遵守し、ヒューマンエラーの防止に努め、安全を第一に、安心・快適でより便利な交通サービスをお届けするとともに、一層の経営改善に取り組むことにより、市民・利用者の皆さまに、より信頼され、将来にわたって日常生活の移動手段の役割を担っていくことができる市バス・地下鉄をめざしてまいります。

名古屋市営交通事業経営計画2028の理念

変わる時代に、変わらぬ使命のために！

“安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供する”
という変わらぬ使命を果たし、
名古屋のまちの将来に貢献できるよう、
事業環境が大きく変わる時代に適応しながら
持続可能な経営を実現します

安全方針

職員一人ひとりが、お客さまへの安全な輸送の提供が最大の使命であることを深く認識し、安心してご利用いただける“安全・安心な市バス・地下鉄”をめざします。

- 1 安全最優先を徹底します
- 2 法令・規則等のルール、手順を確実に守ります
- 3 安全を守るための取組みを絶えず見直し改善します

コンプライアンス方針

市民及び利用者の皆さまからの信頼に応え、社会的責任を果たすために、以下のとおり行動の基本原則を定めます。

- 1 法令等を遵守し、社会規範に従い、高い倫理観を持って行動します
- 2 リスクの把握と対策に最善を尽くし、常に責任ある行動をとります
- 3 互いの人格を尊重し、ハラスメントのない職場をつくります

接客方針 “ありがとう”

私たちは、お客さまから「ありがとう」の言葉がいただけるサービスをお届けします

交通局人材育成ポリシー

市バス・地下鉄は今日も走ります。職員一人ひとりの力が結集しています。交通局で定めている「安全方針」「コンプライアンス方針」「接客方針」を実践するのは、一人ひとりの職員です。

交通局で働く職員が、いつも生き生きと協調し信頼しあい、常に前進できるよう、「組織は人」という観点から「交通局人材育成ポリシー」を策定します。

職員一人ひとりが、ここに定めた「めざす職員像」を心にとどめ実践することにより、自身を育て、部下・後輩・チームを育て、職場・組織の成長につなげていきます。

～交通局的使命～

安全で安心、快適、便利な交通サービスを提供し、名古屋のまちの将来に貢献します

～めざす職員像～

- 1 プロ意識を高く持ち、安全のために自ら考え積極的に行動する人
- 2 心をこめた笑顔で、誠実・丁寧に対応する人
- 3 守るべきことを守り、責任ある行動をとる人
- 4 相手を思いやり、互いに認め支えあう人
- 5 変化を柔軟にとらえ、改善・成長に向け努力する人

市バス・地下鉄は、なくてはならない市民の移動手段です



営業キロ

市バス：765km

◎名古屋と東京を往復する距離より長い

地下鉄：93km

◎地下鉄の環状線運転は、名城線が日本初

系統数・路線数

市バス：165系統

地下鉄：6路線

停留所数・駅数

市バス：1,477停留所

地下鉄：87駅

車両数

市バス：1,014両

◎公営では、東京都営バス（1,453両）に次いで2番目

地下鉄：782両

◎公営では、東京都営地下鉄（1,216両）に次いで2番目

1日の走行距離

市バス：10万km

◎市バス・地下鉄合わせて28万kmは、地球（1周4万km）の7周に相当

地下鉄：18万km

1日のお客さま数

市バス：31万人

◎市バス・地下鉄合わせて157万人は、名古屋市の人口（233万人）の約2/3に相当
◎年間では、日本の人口の約4.6倍に相当

地下鉄：126万人

市内での利用割合

◎市域内移動で公共交通を利用される方の約9割が、市バス・地下鉄を利用
(第5回 中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年)データによる)

(注) 名古屋市は令和7年3月末（1日の走行距離及び1日のお客さま数は令和6年度決算（見込））
他事業者は令和5年度決算 人口は令和6年10月1日現在

名古屋市営交通事業経営計画 2028

計画の理念・計画期間

▶ 策定の趣旨

市営交通 100 周年という節目を迎えて最初の計画となる「名古屋市営交通事業経営計画 2028」は、名古屋のまちの将来に貢献できるよう、人々の価値観や生活様式、社会・経済情勢などの事業環境が大きく変わる時代に適応し、持続可能な経営を実現するために策定するものです。

▶ 計画の理念

変わる時代に、変わらぬ使命のために！

“安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供する”
という変わらぬ使命を果たし、
名古屋のまちの将来に貢献できるよう、
事業環境が大きく変わる時代に適応しながら
持続可能な経営を実現します

▶ 計画期間

令和6年度から
令和10年度までの5年間
(長期的展望に立った収支
計画は、令和15年度まで
の10年間)

取り組む施策

▶ 施策の構成

交通局が取り組むべき課題を踏まえ、取り組むべき施策として整理しました。
取り組む施策は、柱立てとなる4つの大きな枠組みと12種類の施策によって構成されます。



▶ 施策構成に込めた思い

上記の体系図は、施策を推進する土台として「施策4 持続可能な経営の確立」を進めるとともに、交通事業者として最も重要な責務である「施策1 安全・安心の推進」を中心に据え、「施策2 快適性・利便性の高いサービスの提供」や「施策3 まちの将来に向けた行動」にも取り組むことを示しています。

これらの施策のもとに、施策を実現するための78の具体的な事業がひもづきます。

施策を実現するための事業

【凡例】◎：新規事業 ○：拡充事業 ・：継続事業

施策1 安全・安心の推進

お客さまに安全に、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、輸送の安全性の向上、災害対策やセキュリティの強化を図るとともに、施設などの計画的な維持管理を進めます。

1-1 輸送の安全性の向上

- ◎ バス車両への安全装置の導入
- ドライブレコーダーの機能強化
- 可動式ホーム柵の整備
- ・ 輸送の安全に関する研修等の実施
- ・ 運輸安全マネジメントの推進
- ◎ 乗務員の健康管理の充実



■ 鶴舞線可動式ホーム柵
(庄内緑地公園駅)

1-2 災害対策・セキュリティ強化

- ・ 地下鉄構造物の耐震補強
- ◎ 浸水警報装置の整備
- ◎ 想定し得る最大規模の風水害への備え
- ・ 災害発生時の情報発信
- ・ 災害・危機対応力の向上
- ◎ 地下鉄車両への車内カメラ設置
- 駅構内カメラの増設



■ 車内カメラ

1-3 計画的な維持管理

- ・ バス車両の更新
- ・ バス料金箱の更新
- 地下鉄車両の更新
- ・ 地下鉄車両の主要電気機器の更新
- ◎ バス停留所施設管理システムの開発
- ・ 地下鉄構造物の長寿命化
- ・ エレベーター・エスカレーターの更新
- ・ 地下鉄電気設備の更新

施策2 快適性・利便性の高いサービスの提供

お客さまの快適性・利便性を高めるため、施設のリニューアルや誰もが利用しやすい環境づくりを進めるとともに、お客さまのニーズに対応したサービスの提供に取り組めます。

2-1 施設のリニューアル

- ・ バスターミナルの環境改善
- ・ 停留所施設の整備・改修
- 駅のリニューアル
- ◎ 駅のリフレッシュ
- ・ 駅構内トイレのリニューアル

2-2 誰もが利用しやすい環境づくり

- 駅のエレベーターの整備
- ・ ホームと車両の段差・隙間の改善
- ・ 駅のバリアフリー設備の充実
- ・ バス車内への液晶式停留所名表示器の設置
- ・ 地下鉄の車内案内表示装置の多言語化
- 駅の旅客案内表示装置の更新
- ・ わかりやすい案内サインの整備
- 戦略的な情報発信
- ・ 市バス・地下鉄のマナー啓発



■ ホーム先端部のかさ上げ

2-3 ニーズに対応したサービスの提供

- ◎ 定期券 WEB 予約サービスの導入
- ◎ クレジットカード対応券売機の設置拡大
- キャッシュレス化の推進
- ・ バスの路線・ダイヤの見直し
- ・ 地下鉄のダイヤの見直し
- 東山線の混雑緩和策の検討
- ・ 駅ホームの冷房化
- ◎ データの利活用によるニーズの把握・分析
- ◎ 「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備



■ クレジットカード対応券売機の設置拡大

施策3 まちの将来に向けた行動

名古屋のまちの将来を見据え、交通事業者として、まちづくり等との連携や環境負荷の低減、子ども・子育てのサポートのために行動します。

3-1 まちづくり等との連携強化

- ◎ 栄駅の総合的な整備
 - ・ リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備
- ・ 周辺のまちづくり等との連携
- 企業・大学・地域・他部局等との連携

3-2 環境負荷の低減

- ・ 照明のLED化
- ◎ エコドライブの推進
- ◎ 非化石エネルギー自動車の試行導入
- 公共交通利用の促進
- ◎ 高圧配電の送電ロスの削減に向けた整備



■燃料電池バス

3-3 子ども・子育てのサポート

- ◎ 「子ども・子育てサポートベンチ」の設置
- ◎ 駅でのベビーカーレンタルの試行導入
- ◎ 地下鉄車両への「子ども・子育てサポートスペース」の設置
- 授乳室の設置
- ◎ 子ども向け特設サイトの開設



■子ども・子育てサポートスペース（イメージ）

施策4 持続可能な経営の確立

将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、収入増加策の展開や事業運営の省力化・効率化などの経営改善に努めるとともに、人材の確保や職員力の向上を図ります。

4-1 収入増加策の展開

- 広告料収入の確保
- ・ イベントの開催などによるお出かけ促進
- 資産の有効活用
- ・ 企画乗車券の発売
- ◎ 戦略的な利用促進策の展開
- ◎ 寄附金収入の確保



■車内デジタルサイネージ

4-2 事業運営の省力化・効率化

- 市バスの管理委託の拡大
- ・ 工事コストの縮減
- ◎ 地下鉄車両の整備業務の効率化
- ・ 経常的な経費の縮減
- ◎ 効率的な駅業務の検討
- ◎ レトロでんしゃ館・資料センターの機能分化
- ◎ 保線業務の効率化
- 市バス事業の経営基盤強化
- ◎ デジタル技術の活用による業務の効率化



■なごや市バス・地下鉄応援寄附金返礼品（市バス局章）

4-3 人材の確保・職員力の向上

- 安定的な人材確保のための取組みの実施
 - ・ 働きやすい環境づくり
- 職員の教育訓練体制の強化
 - ・ 接客サービス向上のための取組みの実施
 - ・ コンクールの実施

計画の進捗状況

市バス

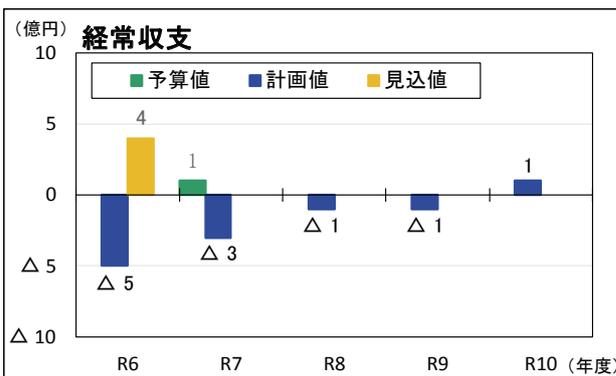
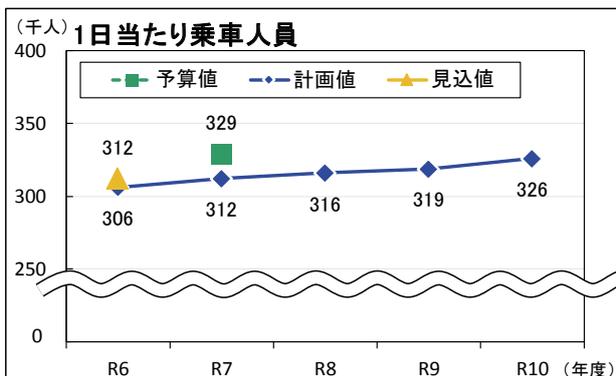


計画目標

- ・令和10年度に1日当たり32万6千人の乗車人員
- ・計画期間中に経常収支を黒字化

●計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和6年度 計画 (A)	令和6年度 決算(見込) (B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	306千人	312千人	6千人
経常収支	△5億円	4億円	9億円



(注) 令和6年度は決算見込値、7年度は予算値

地下鉄

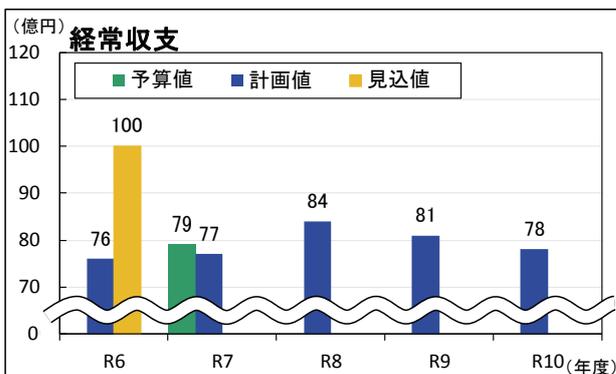
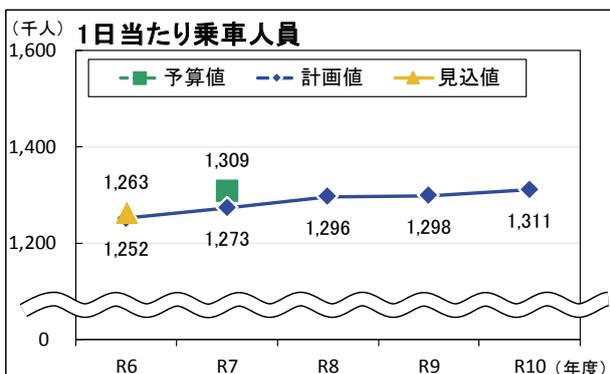


計画目標

- ・令和10年度に1日当たり131万1千人の乗車人員
- ・計画期間中の経常収支の黒字を確保（累計396億円以上）

●計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和6年度 計画 (A)	令和6年度 決算(見込) (B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	1,252千人	1,263千人	11千人
経常収支	76億円	100億円	24億円



(注) 令和6年度は決算見込値、7年度は予算値

令和7年度予算では取り組みの方針を、「名古屋市営交通事業経営計画2028の理念である安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供するという変わらぬ使命を果たし、名古屋のまちの将来に貢献できるように、事業環境が大きく変わる時代に適応しながら持続可能な経営を実現するため、計画に掲げた施策・事業を着実に推進します。」とし、「安全・安心の推進」、「快適性・利便性の高いサービスの提供」、「まちの将来に向けた行動」及び「持続可能な経営の確立」に重点を置いた予算編成を行いました。

■市バス事業

1. 業務の予定量

(1) 車両数	年度末	1,014両
(2) 運転キロ	1日	98,000キロメートル
(3) 乗車人員	1日	328,500人

2. 収支の状況

収益的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和7年度予算
収入	経常収入	30,669
	営業収益	22,848
	うち運輸収益	17,692
	営業外収益	7,821
	うち一般会計補助金	7,532
支出	経常支出	30,140
	営業費用	29,880
	うち人件費	14,700
	営業外費用	250
	その他	10
営業収支	△ 7,186	
経常収支	142	
特別収支	484	
純損益	626	
累積欠損金	△ 35,514	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和7年度予算
収入	資本的収入	4,207
	企業債	4,175
	一般会計補助金	2
	その他	30
支出	資本的支出	6,222
	建設改良費	4,264
	企業債償還金	1,948
	その他	10
資本的収支	△ 2,015	
企業債残高	13,103	

■地下鉄事業

1. 業務の予定量

(1) 車両数	年度末	782両 (135編成)
(2) 運転キロ	1日	183,200キロメートル
(3) 乗車人員	1日	1,308,900人

2. 収支の状況

収益的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和7年度予算
収入	経常収入	98,112
	営業収益	90,151
	うち運輸収益	83,340
	営業外収益	7,961
	うち一般会計補助金	4,451
支出	経常支出	88,836
	営業費用	81,679
	うち人件費	28,855
	うち減価償却費	23,694
	営業外費用	7,147
うち支払利息	2,955	
その他	10	
営業収支	3,117	
経常収支	7,858	
特別収支	△ 142	
純損益	7,716	
累積欠損金	△ 180,982	

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和7年度予算
収入	資本的収入	20,644
	企業債	13,071
	一般会計出資金	3,491
	一般会計補助金	2,221
	国庫補助金	1,029
	県補助金	30
	その他	802
支出	資本的支出	66,425
	建設改良費	18,900
	企業債償還金	14,814
	平準化償還金	5,090
	特例償還金	3,407
	緩和償還金	8,204
	特別減収償還金	16,000
その他	10	
資本的収支	△ 45,781	
資金不足額	△ 44,987	
資金手当債残高	105,927	
企業債残高	299,887	

■主な施策

(1) 安全・安心の推進

ア 輸送の安全性の向上

- (ア) バス車両への安全装置の導入 107両
- (イ) 鶴舞線可動式ホーム柵の整備
可動式ホーム柵の製造及び設置 順次稼働 伏見駅から原駅の12駅
- (ウ) 運輸安全マネジメントの推進
- (エ) 乗務員の脳健診の実施
- (オ) 乗務員の熱中症対策

イ 災害対策・セキュリティ強化

- (ア) 地下鉄構造物の耐震補強
東日本大震災を踏まえた高架構造物の柱の補強 実施箇所 1駅及び3区間
- (イ) 浸水警報装置の整備 瑞穂区役所駅始め3駅
- (ウ) 地下鉄車内カメラの設置
安全利用のため、地下鉄車内を撮影するカメラを設置 東山線 54両(9編成)
- (エ) 地下鉄駅構内カメラの増設
 - a 鶴舞線可動式ホーム柵設置に伴うカメラの整備
 - b 安全利用のため、トイレの出入口付近を撮影するカメラを増設 新瑞橋駅始め12駅18か所

ウ 計画的な維持管理

- (ア) バス車両の更新
 - a 計画的なバス車両の更新 106両
 - b 電気バスの試行導入 1両
電気バスの購入及び充電設備の設置
- (イ) バス停留所施設管理システムの開発
- (ウ) 地下鉄名城・名港線車両の更新
省エネルギー性能に優れ、「子ども・子育てサポートスペース」を設置した新型車両を導入 18両(3編成) 令和10年度以降更新
- (エ) 地下鉄車両の主要電気機器更新
- (オ) 地下鉄構造物の長寿命化
- (カ) 地下鉄駅エレベーター・エスカレーターを更新
- (キ) 地下鉄電気設備の更新

(2) 快適性・利便性の高いサービスの提供

ア 施設のリニューアル

- (ア) バスターミナルの環境改善
工事 新瑞橋バスターミナル 令和8年度完成
調査 名古屋駅バスターミナル
- (イ) バス停留所施設の整備・改修
- (ウ) 地下鉄駅のリニューアル
明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅の壁・床・天井・照明などのリニューアルを実施
部分改修
工事 中村日赤駅、東別院駅、築地口駅 令和9年度完成
設計 新栄町駅、熱田神宮伝馬町駅、名古屋港駅
- (エ) 地下鉄駅のリフレッシュ
鶴舞駅始め8駅
- (オ) 地下鉄駅構内トイレのリニューアル
利用者の快適性向上に向け、全ての便器について洋式化、温水洗浄便座の設置等の改修を実施
工事 名古屋駅始め10駅13か所
設計 新栄町駅始め9駅11か所

イ 誰もが利用しやすい環境づくり

- (ア) 地下鉄駅エレベーターの整備
工事 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅、本郷駅
調査 池下駅、黒川駅、ナゴヤドーム前矢田駅、六番町駅、大須観音駅
- (イ) ホームと車両の段差・隙間の改善
工事 名城・名港線 12駅
設計 桜通線
- (ウ) 地下鉄駅のバリアフリー設備の充実
- (エ) バス車内への液晶式停留所名表示器の設置 107両
- (オ) 地下鉄の車内案内表示装置の多言語化
- (カ) わかりやすい案内サインの整備 八事駅始め8駅
- (キ) 戦略的な情報発信
 - a 年代ごとの特性などにあわせ、ウェブサイトやSNS等を活用した情報発信を実施
 - b ウェブサイトのリニューアルを実施
- (ク) 市バス・地下鉄のマナー啓発

ウ ニーズに対応したサービスの提供

- (ア) 定期券WEB予約サービスの導入
定期券購入の利便性向上を図るため、WEB予約サービスの導入に向けたシステム開発(令和8年度導入)

- (イ) クレジットカード対応券売機の設置拡大
クレジットカード対応券売機の増設 高畑駅始め13駅26台
(3駅13台から16駅39台へ拡大)
- (ウ) キャッシュレス化の推進
クレジットカードタッチ決済等の導入に向けた自動改札機等の改修
(令和8年度以降導入)
- (エ) 地下鉄のダイヤの改正
通勤・通学利用者が集中する時間の混雑緩和を図るため、ダイヤを改正
名城・名港線(令和7年9月実施)
- (オ) 東山線の混雑緩和策の検討
- (カ) 地下鉄駅ホームの冷房化
工事 御器所駅(桜通線)始め8駅
設計 新栄町駅始め3駅

(3) まちの将来に向けた行動

ア まちづくり等との連携強化

- (ア) 栄駅の総合的な整備
- (イ) リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備

イ 環境負荷の低減

- (ア) 照明のLED化
 - a バス停標識及びバスターミナル等の照明のLED化
 - b 地下鉄駅構内及び車内等の照明のLED化
- (イ) 非化石エネルギー自動車の試行導入
電気バスの試行導入 1両
- (ウ) エコドライブの推進

ウ 子ども・子育てのサポート

- (ア) 地下鉄名城・名港線車両への「子ども・子育てサポートスペース」の設置
令和10年度以降更新予定の新型車両にベビーカー利用の方やお子さまが利用しやすいスペースを設置
- (イ) 地下鉄駅でのベビーカーレンタルの試行導入

(4) 持続可能な経営の確立

ア 収入増加策の展開

- (ア) 広告料収入の確保
 - a 地下鉄車内デジタルサイネージ広告の設置 東山線 20編成
(令和8年度 21編成から41編成へ拡大)
 - b 大型デジタルサイネージ広告の設置 栄駅(東山線)
- (イ) 資産の有効活用
 - a 東山線高架下用地の活用方針の検討
 - b 旧名城工場跡地の借地人の再公募に向けた準備及び暫定活用
 - c その他の有効活用
- (ウ) 戦略的な利用促進策の展開
敬老バス利用者や観光客などターゲット層を絞り込み、ニーズを捉えた戦略的な利用促進策を展開
 - a 敬老バス利用者向け施策「アクティブシニアキャンペーン」
 - b 観光客向け施策「やみつきなごめしきっぷ」
 - c 市バスを利用していない若年層向け施策「市バスでPetit旅」
- (エ) イベントの開催などによるお出かけ促進
 - a ウォーキングイベントの実施
 - b 体験型謎解きイベントの実施
 - c プロスポーツチームと連携した利用促進策の実施
 - d 他部局と連携した利用促進策の実施
- (オ) 寄附金収入の確保

イ 事業運営の省力化・効率化

- (ア) 市バスの管理委託の拡大 港明営業所の委託車両数を30両から35両へ増加
- (イ) 地下鉄車両の整備業務の効率化
- (ウ) デジタル技術の活用による業務の効率化
 - a 事務作業の効率化を図るため、生成AIを導入
 - b 地下鉄施設等の維持管理業務用にタブレット端末等を導入
- (エ) 市バス事業の経営基盤強化

ウ 人材の確保・職員力の向上

- (ア) 安定的な人材確保のための取組みの実施
- (イ) 働きやすい環境づくり
 - a 市バスの乗務員待機所や女性職員用トイレ等の整備
 - b 地下鉄駅等における女性職員用施設の設置や仮眠室の個室化等を実施
- (ウ) 職員の教育訓練
 - a バス運転士、駅務員等の養成研修及び基本的な知識・技術の習得を目的とした新規採用者研修を実施
 - b 業務内容・職務経験・職責に応じた現任職員に対する研修等を実施

交通局では、市バス・地下鉄が市民の安全で安心して移動できる手段として、市民・利用者の皆さまから信頼をいただけるように、運輸安全マネジメントに関する取り組みや訓練・研修等を通して交通事業者にとって最大の使命である安全の確保に取り組むとともに、災害に備えた駅改造や設備の整備、職員の意識改革による接客サービスの向上、事故防止やマナー啓発に取り組んでいます。

安全の確保のために

1 運輸安全マネジメントの推進

平成17年には、4月25日に発生したJR西日本福知山線での脱線事故をはじめ、運輸業界でさまざまな事故やトラブルが起きました。そうした事態を受けて、平成18年10月1日に鉄道事業法、道路運送法などの法律が一括で改正され、各運輸事業者は安全管理体制の構築と、運輸安全マネジメント制度を導入することが求められました。名古屋市交通局においても安全管理体制を構築し、経営トップから現場までが一丸となり輸送の安全の確保・向上に取り組んでいます。

運輸安全マネジメント制度に基づく主な取り組みとして、具体的に以下のような取り組みを進めています。

①安全方針の策定

交通局の輸送の安全に対する理念として、平成19年4月に最初の安全方針を定め、以降、毎年見直しを行い現在に至っています。

②輸送の安全に関する目標・運輸防災に関する目標の設定

市バス事業、地下鉄事業それぞれ、年度ごとに輸送安全・運輸防災の目標を定めています。

令和7年度の目標は次のとおりです。

【輸送の安全に関する目標】

<市バス事業>

有責事故件数を削減する（237件以下） 車両故障件数を削減する（34件以下）	
重点事項	<ul style="list-style-type: none"> ・三事故（追突、発進反動、扉挟撃）を削減する（21件以下） ・構造物等との事故を削減する（60件以下） ・作業ミスによる故障を撲滅する ・車齢10年以上の車両における通常故障を削減する（18件以下）

<地下鉄事業>

当局の責任によって生じる運転事故・営業事故・輸送障害をゼロにする

【運輸防災に関する目標】

<両事業共通>

自然災害発生時において利用者等の安全を確保するとともに、業務活動を維持・早期回復するため、教育・訓練等を通じて対応力の向上を図る
--

なお、年度ごとの目標に対する実施状況につきましては、毎年、安全報告書を作成し公表しています。

③安全重点施策の策定

輸送の安全に関する目標・運輸防災に関する目標を達成するため、5項目の安全重点施策を定めています。

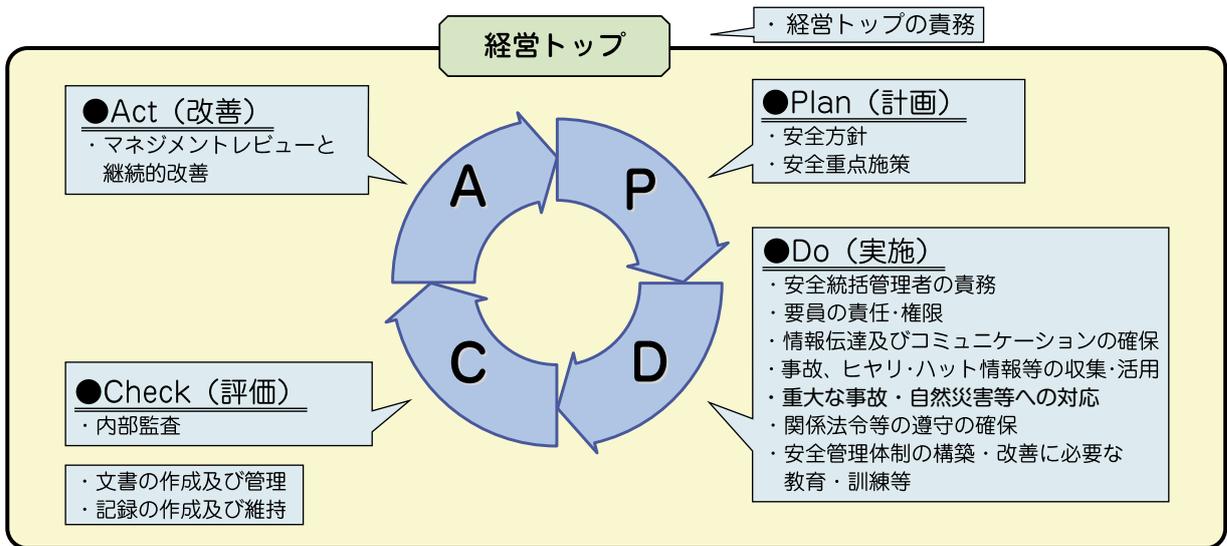
④内部監査の実施

交通局が進めている安全性向上の取り組みが、法令や局内の取り決めに適合しているか、効果的に実施されているかなどについてチェックするため、局職員を監査員として内部監査を毎年実施しています。

⑤運輸安全マネジメント評価

国土交通省の調査官により「運輸安全マネジメント評価」が実施され、交通局の取り組みに対する評価や助言を受けています。

以上のような取り組みを、マネジメントの基本であるPDCAサイクル（Plan-Do-Check-Act）に基づいて進めています。



お客さまから信頼される交通局をめざして

2 安全最優先の取り組み

①人材の確保

■職員の採用

交通局では、将来を担う人材を確保するために、交通局の職員として働く市バス運転士や地下鉄駅務員、技術員の採用を行っています。

また、採用後は養成研修を行い、必要な知識・技能を習得したうえで現場へ配属しています。

■名古屋市交通局採用サイトによるPR

交通局で働きたいと思っている方に、交通局の魅力、採用募集情報などを分かりやすく提供するため、市バス運転士や地下鉄駅務員、技術員の採用選考等に係る情報に特化した名古屋市交通局採用サイトを令和3年3月に開設し、公開しています。

URL

<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/recruit/>



トップページ

採用サイトの主なコンテンツ

- ・職種紹介 : 交通局のさまざまな職種の紹介
- ・職員インタビュー : 実際に各現場で働く職員からのメッセージや職場の魅力紹介
- ・勤務条件 : 勤務時間や休暇等の勤務条件
- ・女性活躍／ワークライフバランス : 女性専用施設や各種休暇制度等の紹介
- ・キャリアプラン : 入局時からのキャリアの流れ
- ・人材育成 : 入局以降行われる、さまざまな研修の紹介
- ・採用情報 : 説明会情報や募集要項、試験問題の例題など

■大型第二種免許未取得者を対象とした市バス運転士の募集

全国的に大型第二種免許の所有者数が減少していることを受け、新たな人材を発掘することを目的として、大型第二種免許未取得者を対象とした市バス運転士の募集を令和2年度から行っています。

選考に合格して採用された方に、大型第二種免許取得費用を助成します。また、採用後は、免許所有者を対象とした採用選考を経た採用者よりも多くの実技研修を行うなど、運転技術・知識を確実に習得できるよう対応しています。



募集告知ポスター

②職員の管理・育成

■厳正な点呼

市バス営業所や地下鉄の駅務区、運転区では乗務員、駅務員等に対して点呼を行い、業務内容の確認や注意事項の伝達などを行うとともに、アルコール検知器によるチェックを実施し、飲酒運転を絶対にさせないよう取り組んでいます。



アルコール検知器によるチェック



点呼

■基本動作の徹底実施

市バスの運転士や、地下鉄の駅務員、乗務員等の基本動作を徹底するため、年間を通して本庁職制や現場職制が現場巡視や添乗指導を行っています。

市バスにおいては、着座確認、扉操作、案内放送等、また地下鉄においては、指差確認称呼、案内放送等の実施を確認し、適宜指導を行っています。

■安全意識向上の取り組み

市バス事業では、全運転士の運転記録証明書を取得し、私行上も含めた交通事故、違反歴を把握するとともに、点呼で免許証の失効等が無いことを確認し、各運転士の法令遵守と安全意識の高揚に取り組んでいます。

地下鉄事業では、年間の計画、月ごとの重点事項を定め、駅務員や車掌がマナー啓発放送を実施するなど、お客さまへの積極的な働き掛けを通して自らの安全意識を高めるよう取り組んでいます。

■コミュニケーションの活性化

交通局長等幹部職員が現場に出向き、現場職員との相互の理解を深め、安全意識の向上を図ることを目的に意見交換会を実施しています。

交通局では、このような取り組みを通して現場での業務の状況や課題の把握に努め、局全体の安全への取り組みの改善に役立てています。



意見交換会

■幹部職員による現場巡視

年間を通して幹部職員が市バス、地下鉄の各現場を巡視し、業務の状況や訓練の査察、職員への訓示を行うなど、現場職員の安全意識高揚を図っています。



現場巡視

■非常時対応訓練の実施

地震や豪雨等の自然災害、事故、テロ事件の発生時など、緊急の事態に的確で迅速な対応ができるよう、年間計画を定めて訓練を実施しています。

市バス

集中豪雨を想定した水防訓練では、市バス全車両へ無線を使用した一斉通報による情報伝達訓練などを実施しています。

また、大規模地震を想定した防災訓練では、運行中の市バス車両と営業所間における情報伝達や津波避難ビルへの避難誘導訓練などを実施しています。

さらに、年末年始安全総点検期間において、事故・バスジャック等による緊急時を想定した避難誘導訓練やタイヤ交換など、実践的な訓練も行っています。



バス車両タイヤ交換訓練



避難誘導訓練

地下鉄

集中豪雨を想定した水防訓練では、情報の伝達、避難誘導、駅出入口の止水板立ち上げ、防潮扉の閉鎖などの訓練を実施しています。

また、大規模地震を想定した防災訓練では、情報伝達や避難誘導訓練のほか、早期地震警報システムによる列車停止訓練を実施しています。

さらに、地下鉄車内及び駅構内における傷害事件、爆破予告といった様々な非常時においても的確で迅速な対応をするために警察署・消防署と連携した防犯訓練や事故復旧総合訓練、軌道内転落者救出（非常用はしごの取り扱い）及び救命救急（AED 取り扱い）訓練など実践的な訓練も行っています。



水防訓練



防犯訓練



防犯訓練



事故復旧総合訓練

■輸送の安全に関する研修等

交通局では、輸送の安全に携わる職員として必要な能力の取得と技能を維持するための教育・訓練・研修を計画的に実施し、必要に応じて見直し・改善を行っています。

市バス・地下鉄・技術 共通

過去の事故・災害・不祥事等、一つひとつの事例から、定められているルール・手順の重要性を再認識し、高い安全意識を身に付けるため、安全学習室を活用して、様々な職員教育を実施しています。

市バス

研修車両に搭載されたドライブレコーダー、燃料消費計、視線計測装置や車両の前後・左右の動揺をモニターする加速度計などの機器を活用して、より安全な市バスの運行ができるよう様々な実践的研修を実施しています。

また、外部の訓練コースでは、スラローム走行や急制動など、公道では試すことができない走行体験をしています。車両の限界特性を知ることにより、事故防止及び安全意識の向上に取り組んでいます。



視線計測装置

地下鉄

駅務員、車掌、運転士、助役の各職種が合同で、非常時の取扱訓練、必須知識の再確認、事故防止教育などを行い職種間の連携強化と職員個々の資質向上を図るなど、地下鉄の安全運行を支えるための多様な研修を実施しています。

また、事故・災害時も冷静・的確に判断・行動し、お客さまの安全を確保できる対応力の向上を図るため、地下鉄運転シミュレータや可動式ホーム柵等の機器を活用して、様々な状況を想定した体験型研修を実施しています。



地下鉄運転シミュレータを活用した体験型研修

技術

危険性の情報を共有し、事故等の発生を未然に防ぐことを目的としたKYT（危険予知訓練）研修を実施しているほか、機器や保守技術に関する専門的な知識・技術の向上を図るなど、市バス・地下鉄の安全運行を支えるための様々な研修を実施しています。



技術研修

③安全を確保するための設備

市バス

■ドライブレコーダー

市バスでは、走行中の車内・車外の映像やエンジン回転数等が記録できるデジタルタコグラフ付ドライブレコーダーを市バス全車両に導入し、事故防止やエコドライブに活用しています。

今後も、映像や運行状況の記録を安全教育に活用することで、お客さまに安心・快適にご乗車していただけるよう努めてまいります。



ドライブレコーダーの解析画面の画像

■運行支援システム

安全かつ適正に市バスを運行するため、画像や音声により運転士をサポートする「運行支援システム」を市バス全車両に導入しています。

運行経路上の間違えやすい場所などで、正しい進行方向などを知らせる「進路指示機能」や、バス停で所定の発車時刻より早く発車しようとしたときに注意喚起する「遅早発防止機能」などを備えています。



運行支援システム

■バス車両の保守

市バスの安全・確実な運行には、車両の保守が必要不可欠です。

定期点検整備や故障の迅速な修理などは、各営業所に併設された整備部門で行っています。

また、年1回の車検整備は、中川営業所など車検整備事業場で行っています。



整備部門におけるバス車両整備

■積雪時の安全対策

積雪時の安全対策として、市バス全車にスタッドレスタイヤもしくはチェーンを装備しています。

■バス車両の緊急停止ボタン

令和元年度より、ドライバー異常時対応システムを装備したバス車両を導入しています。運転士に異常が発生した際に、運転席後方に設置している非常ブレーキボタンを押すことで、バス車両を停止させることができます。



緊急停止ボタン

■バス車両への安全装置導入

バス車両の更新にあわせて、運転士にとって死角となる左側方を映像で確認するモニター、前扉を開けたままの発車を防ぐ動力遮断装置を導入します。



左側方確認モニター

地下鉄

■ ATC (自動列車制御装置)

この装置は、全線に設置しており先行列車との間隔や線路のカーブ等によって決められた運行速度を超えると、自動的にブレーキをかけて減速又は停止させ、列車の速度を制御することにより、運行の安全を確保するものです。



ATC (自動列車制御装置)

■ ATO (自動列車運転装置)

この装置は、東山線、名城線・名港線、桜通線に設置しており運転士が出発ボタンを押すことにより自動的に列車を出発させ、ATC信号の制限速度内で路線に最適な走行パターンにより、出発から加速、減速から停止までの自動制御を行い、次駅まで安全かつ正確に運行するものです。



ATO (自動列車運転装置)

■ 可動式ホーム柵

お客さまをホームからの転落や列車との接触から守るための設備で、列車の扉と連動してホーム柵の扉が開閉します。現在、東山線、名城線・名港線、桜通線及び上飯田線の全79駅に設置しています。

鶴舞線(庄内緑地公園駅～赤池駅)においては、令和8年9月開催の第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)までに完成する目標で、整備を進めています。



可動式ホーム柵

■ 駅構内カメラ

駅構内にはお客さまの安全・安心のため、カメラを設置しています。

ホームをカメラで撮影した映像にて列車の扉開閉操作時のお客さまの安全確認を行っています。



車掌用モニター ホーム前方モニター

■ 車内カメラ

車内での犯罪行為等の未然防止及び事後確認等、セキュリティの向上を図り、お客さまが安心してご利用いただけるよう、令和2年度より順次、車内カメラを設置しています。



車内カメラ

■ 電車緊急停止ボタン

駅ホームの線路内で異常が発生したときに、ボタンを押すことにより、駅に進入する電車及び駅を発車する電車を自動的に停止させます。

■ 車内非常通報装置

各車両の扉付近に設置しており、非常の場合、ボタンを押すことにより、車掌または運転士への通報あるいは通話ができます。

ワンマン運転を行っている東山線、名城線・名港線、桜通線及び上飯田線では、運転士が直ちに応答できない場合、列車の運行状況を監視している運転指令員が応答します。



電車緊急停止ボタン 車内非常通報装置

■ 運転指令室

地下鉄がダイヤに基づき、安全円滑に運行されるよう各駅・各列車に様々な指示を与える他、異常時にはウェブサイト、旅客案内表示装置及び地下鉄運行情報提供大型モニターに情報提供するなど、列車運行管理の中核部署です。

ここには、信号やポイントを遠隔操作し、運行を制御するCTC(列車集中制御装置)や列車の運行状況を常に監視できる運行表示盤が設置されています。

また、東山線、名城線、名港線、桜通線及び上飯田線には、各駅ホームの映像を監視モニターに映し出す集中映像監視装置を設置しています。

そのほか列車無線、運転指令電話、非常用電話などの通信設備を備え、地下鉄の安全輸送を確保しています。



運転指令室

■ 電気指令

電気指令では、指令員が24時間体制で各路線に設けられた変電所の状況を常時監視し、必要な操作を遠隔で行います。

また、駅の電気設備や列車の運行に必要な設備の故障時には、保守係員に緊急出動を指示するなど即応体制をとっています。



電気指令

■ 変電所

変電所では電力会社から受電した交流の電気を、直流の600ボルト（東山線、名城線・名港線）又は1,500ボルト（鶴舞線、桜通線、上飯田線）に変換して電車に供給しています。また、各駅の電気室へ3,300ボルト又は6,600ボルトの電圧に変換して送電しています。

駅の電気室では、さらに200ボルトや400ボルトなどの低圧電気に変換し、照明やエスカレーターなどに供給しています。

変電所には非常用発電機が設置してあり、電力会社が停電した場合には、各駅の重要な電気設備へ電力を供給することができます。

■ 車両の保守

検査の種類	検査の内容
全般検査	8年に1回車両全般について行う検査
重要部検査	4年又は60万kmに1回重要な部品を取り外して行う検査
月検査	3カ月に1回在姿(部品をつけたまま)で行う検査
列車検査	6日に1回外部から行う検査
臨時検査	車両を購入、改造する時など必要な時に行う検査



電車車庫での整備

■ 軌道の保守

軌道保守作業は、安全輸送及び乗り心地の良さを維持するため欠くことのできない重要な作業で、昼夜を問わず行います。

営業時間中は、列車の合い間をぬって線路を巡視し、軌道の異常の有無等を点検、確認します。

また、営業終了後の深夜には、レールやマクラギ等の交換、軌道のズレの修正及びトンネルの補修等を行います。



軌道保守(砕石道床つき固め作業)

災害に備えて

市バス

市バス営業所への発電機等の配備

災害等により電力の供給が断たれた場合に、バス営業運転を早期再開できるよう、全営業所に発電機やLED投光器を配備しています。



発電機

地下鉄

火災対策設備

地下駅やトンネルは、不燃化を図るとともに、自動火災報知設備による警報設備、通信設備や放送設備等の通報設備、排煙設備、異なる2つ以上の避難通路や非常用照明設備、避難口誘導灯等の避難誘導設備、屋内消火栓設備等の消火設備を、国の定めた基準に基づき設置しています。

避難通路として、通常は使わない非常階段を使用する駅では、扉の色を黄色に統一し、「非常口」と大きく表記することで、非常時においても、お客さまが迷うことのないよう配慮しています。

なお、平成15年2月に発生した韓国地下鉄火災事故を契機に改正された国の新しい基準では、さらなる安全性の向上を目指し、駅改造の機会を捉えてホーム階段部の防火防煙シャッターなどの整備を行うこととされており、これについても順次整備を進めています。



非常階段



防火防煙シャッター

防災管理室

防災管理室は、各駅に設置されており、熱や煙を検知する感知器やモニターテレビなどで常時駅構内を監視し、災害発生時には情報収集、避難誘導、通報連絡、消火活動を迅速かつ的確に行うことができる体制をとっています。



防災管理室

非常用照明装置

地下駅構内やトンネル内では、停電しても暗闇にならないように照明には特別の配慮をしています。

停電と同時に車内の一部の照明は電車のバッテリー電源で点灯し、最低限の照明を確保します。また、駅構内では非常灯が駅のバッテリー電源で点灯し、最低限の照明を確保します。

さらに、停電が長引く場合は、交通局変電所の非常用発電機を始動させ各駅へ電気を送り、一部の照明を点灯させます。



非常用発電機

■ 防潮扉・止水板・浸水警報装置

海に近い名港線の日比野駅から名古屋港駅間の6駅すべての出入口には、高潮や津波による浸水に備えて、鋼鉄製の防潮扉を設置しています。非常時にはこの防潮扉を閉鎖し、浸水を防止します。

また、地下鉄駅の浸水対策として地上駅を除く83駅（エレベーター前のように設置している駅を含む）の出入口に止水板を設置しています。

さらに、急な豪雨などで水位が急激に上昇した際に迅速な対応ができるよう、駅に浸水を知らせる警報装置の整備を進めています。



防潮扉



浸水警報装置



止水板

■ 防水扉

庄内川の真下を横断する鶴舞線の庄内緑地公園・庄内通間には、鋼鉄製の防水扉を4つ設置しています。

これは、万一、川の水がトンネル内に流入したとき、浸水による災害の拡大防止を図るための扉です。センサーで流入をキャッチすると、運転指令室からの遠隔操作で扉を閉じて安全を確保します。



防水扉

■ 地下鉄施設の津波対策

津波による浸水に備え、平成25年度に公表された津波ハザードマップにおいて、過去の地震を考慮した最大クラスの地震が発生した場合の想定に基づき、地下鉄駅の止水板や換気所の扉などを津波に対応した強度のものに改修しました。



■ 地下鉄構造物の耐震補強

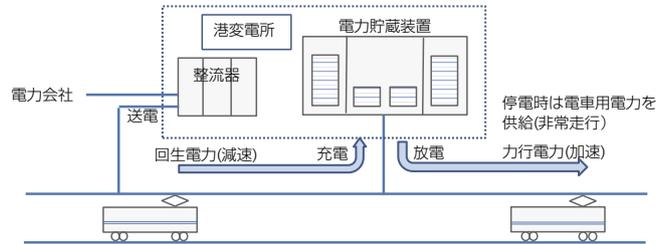
東日本大震災を踏まえ、安全性を高め、地震発生後に早期復旧を図ることができるよう、耐震補強を実施しています。



耐震補強を施した橋脚

■ 変電所電力貯蔵装置

巨大地震により大規模停電が発生した場合、地下鉄の電車がトンネル内の駅間に停止する可能性があります。津波が到達する前にお客さまが安全な場所に早く避難できるよう、最寄りの駅までの非常走行を可能とする電力貯蔵装置を名港線 港変電所に設置しています。



■ 手すり付き非常はしごの設置

地震などによる停電時に地下鉄車両から降車して避難する際、迅速かつ円滑に避難することができるように、全線の地下鉄車両に手すり付き非常脱出はしごを設置しています。

また、駅においても非常時に軌道からホームへ上がるための手すり付き非常用はしごを配備しています。



手すり付き非常脱出はしご

■ 駅軌道内の点検

駅軌道内の壁タイルおよび天井添架物の落下を予防するため、目視および打音調査、触診による点検を実施しています。



駅軌道内の点検（触診点検）

■ デジタルサイネージでの緊急案内放送

名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画（エリア防災計画）及び金山駅周辺地区エリア防災計画において、大規模災害時における帰宅困難者対策の一環として、駅コンコース階に設置されているデジタルサイネージを活用した避難誘導及び情報伝達を実施します。



■ 市バス・地下鉄 親子防災教室

交通局研修所において、地域の皆様に市バス・地下鉄における防災対策、職員の教育・訓練を広く知っていただくとともに、各種防災設備を体験していただく教室を実施しています。令和5年度は約80名の方にご参加いただきました。（令和6年度は南海トラフ地震臨時情報の発令により中止）



接客サービスの向上

職員一人ひとりがお客さまサービスの担い手であるという意識を高め、接客サービスのプロとして、職務に必要な能力を向上させ、成長していけるような取り組みを行っています。

1 接客サービス向上のための取り組み

■ “ありがとう” 宣言（平成20年3月制定）

お客さまから「ありがとう」の言葉がいただけるよう、「接客サービス向上」のためのアクションを定め、接客サービスの向上に取り組んでいます。

〈アクション〉

- 1 あいさつをしっかりします
- 2 身だしなみを整え、第一印象を大切にします
- 3 お客さまに“ありがとう”を伝えるため、笑顔で対応します
- 4 お客さまにはっきりした声で対応・アナウンスします
- 5 電話対応時には、所属・名前を名乗り、責任のある対応をします

■ サービス介助士

サービス介助士は、高齢者や障がいのあるお客さまを介助する技術を身に付けるとともに、おもてなしの心で心のバリアフリーを身に付けることを目指した資格です。

平成21年度から、市バス全営業所及び地下鉄全駅でサービス介助士の資格を有する職員が常時1名以上勤務する体制を取っています。

■ 認知症サポーターの養成

認知症サポーターは、認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守る「応援者」です。

市バス営業所・地下鉄駅等の運輸職員が、認知症について正しい知識を持ち、適切な対応ができるようになるため、認知症サポーターを養成しています。

■ バリアフリー研修

高齢者や障がいのあるお客さまが、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるように、実際に障がいのある方を講師に招き、講義や疑似体験を行うことで理解を深め、様々な職務において、お客さまの視点に立った施策を推進できるように研修を行っています。



バリアフリー研修（疑似体験）

■ 接客サービス研修

新規に採用されたバス運転士・駅務員を対象に、感じの良いあいさつや姿勢・表情・言葉づかい等の基本的知識及びスキルを習得させ、よりよい接客サービスを実践できるようにする研修を行っています。

■ アナウンス研修

電車車掌養成時や新規に採用されたバス運転士・駅務員を対象に、「お客さまに伝える力」を向上させ、その場に応じた最適な案内放送ができるように、発声や言葉遣いなどアナウンスの基本を習得する研修を行っています。



アナウンス研修

2 各種コンクール

各部門の技術向上を目的に、年に1回各種コンクールを実施しています。

■ 運転・接客技能コンクール<市バス>

各営業所から選出された運転士が、安全確認・車両感覚といった運転技能と、質問対応・案内放送といった接客技能を競います。優秀な成績を収めた上位4名は金色のバッジを、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。



運転・接客技能コンクール(市バス)



■ 接客コンクール <地下鉄>

各駅務区から選出された駅務員が、お客さまから「ありがとう」の言葉がいただける接客サービスを目指して接客技能を競います。

優秀な成績を収めた上位3名は金色のバッジ、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。



接客コンクール(地下鉄)

■ 運転技能競技会 <地下鉄>

各運転区から選出された運転士と車掌が技能を競い地下鉄乗務員の技能及び職務に関する知識を向上させてお客さまの安全・安心を守ります。

優秀な成績を収めた上位2名は金色のバッジ、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。

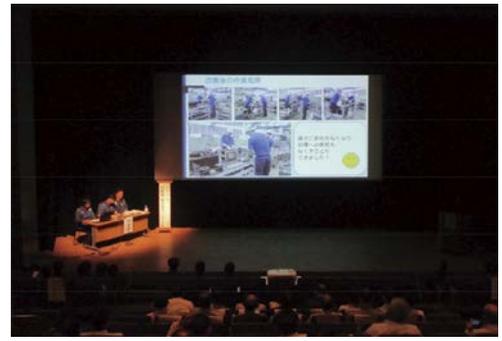


運転技能競技会

■技術職場改善コンクール <技術>

技術職場における安全で快適な輸送サービスの提供に必要な改善を図ることを目的に、毎年開催しています。

技術職場（公所）から選出された代表チームが、日ごろ従事している業務に関して、効率性・安全性等の向上に資するための改善事例を順次発表し、成績優秀な職場には表彰を行っています。



技術職場改善コンクールの発表風景

3 職員の参画意識の向上

日常の業務に根ざした職員からの提案や意見を事業運営や利用促進などに反映し、職員の参画意識の向上に取り組んでいます。

■職員提案制度

収入増加やお客さまに対するサービス向上など交通局の業務改善に関する提案を職員から募集し、優秀な提案については表彰等を行うとともに、施策として実施しています。

事故防止・マナー啓発

お客さまに安全・安心・快適にご乗車いただくために様々な機会をとらえて、事故防止やマナー向上のための取り組みを行っています。

■ 事故防止教室

市バスを安全に利用していただくため、社会福祉協議会主催の「高齢者はつつつ長寿推進事業」に参加されている方を対象に、車内事故の実態や原因、気を付けていただくことなどを内容とした「事故防止教室」を、各区において開催しています。

令和6年度は各区1回（計16回）開催し、約330名の方にご参加いただきました。



■ エスカレーターマナー啓発運動

転落・衝突防止のため、エスカレーターを歩いたりせず、手すりにつかまり、2列で立ち止まってご利用いただくよう、視覚に訴える掲示物の掲示、職員によるお客さまへの安全な利用方法など直接的な呼びかけを行っています。

また、駅長室、改札窓口、ホーム及び車内での案内放送により、積極的な啓発に取り組んでいます。



■ 「転落・接触事故防止」の取り組み

線路内への転落事故や列車との接触事故を防止するため、歩きながらの携帯電話・スマートフォンのご使用をやめていただくよう、改札窓口・車内・ホームでの案内放送、旅客案内表示により啓発するとともに、ホーム柵からの身の乗りだしや寄りかかりなどの注意喚起にも努めています。

■ 視覚障害者に対する転落事故防止の取り組み

可動式ホーム柵の整備を進めています。

また、駅員による視覚障害者への積極的な声掛け・お手伝い、及びお客さまへは視覚障害者が線路に近づくのを見かけたときは声かけをしていただくよう呼びかけています。

■ 乗車マナー向上に関する啓発活動

地下鉄車内の乗車マナー向上を図るため、車内案内放送での呼びかけに加え、マナーポスターを車内等に掲出し、視覚的な啓発にも取り組んでいます。



料金

■概要

市バス・地下鉄の料金について、市バスは均一制、地下鉄は1区から5区までの対キロ区間制料金としています。日常の移動手段として、市民・利用者が便利にご利用いただけるよう乗車券サービスの向上に努めています。

乗車券サービスが充実している名古屋市営バス・地下鉄では、お客さま1人あたりの料金が、市バスは平均135円で、名古屋、東京、横浜、京都、神戸の主要5都市の公営バス事業者の中で1番安く、地下鉄は平均159円で、全8都市の公営地下鉄事業者の中で、東京に次いで2番目に安くなっています(※)。
※令和5年度決算

■市バスの基本料金

大人210円、小児100円(均一制)
(なお、深夜バスは大人420円、小児200円)

■地下鉄の基本料金

区分	1区 (3キロまで)	2区 (7キロまで)	3区 (11キロまで)	4区 (15キロまで)	5区 (15キロを超えるもの)
大人	210円	240円	270円	310円	340円
小児	100円	120円	130円	150円	170円

■保護者が同伴する幼児の料金について

保護者1人につき幼児4人まで無料です。5人目からや、幼児のみの場合は小児料金となります。
※大人及び小児の区分のお客さまを保護者とします。また、幼児とは1歳以上小学校入学前までの方です。

定期券

●定期券の種類と料金

バス定期券は全て全線定期券であり、地下鉄定期券は、通勤・学生とも用途に合わせてご希望の区間・経路で購入できます。

〈市バス(全線)〉

区分	料金		
	1か月	3か月	6か月
通勤定期券(持参人方式)	9,320円	26,570円	50,330円
学生定期券甲(中学生以上)	5,400円	15,390円	29,160円
学生定期券乙(小学生以下)	3,600円	10,260円	19,440円
特得60バス定期 平日昼間・土日休日専用	-	10,370円	-

〈バス・地下鉄全線定期券〉

区分	料金	
バス・地下鉄全線定期券 (通勤) (持参人方式)	1か月	18,970円
	3か月	54,080円
	6か月	102,450円
バス・地下鉄全線定期券 (学生)(中学生以上)	1か月	10,370円
	3か月	29,560円
	6か月	56,010円

〈地下鉄〉

区分	料金					
	1区	2区	3区	4区	5区	
通勤定期券	1か月	8,540円	9,540円	10,470円	11,300円	12,060円
	3か月	24,340円	27,190円	29,840円	32,210円	34,380円
	6か月	46,120円	51,520円	56,540円	61,020円	65,130円
全線定期券	1か月	15,270円				
	3か月	43,520円				
	6か月	82,460円				
学生定期券甲 (大学生)	1か月	5,030円	5,500円	5,880円	6,200円	6,440円
	3か月	14,340円	15,680円	16,760円	17,670円	18,360円
	6か月	27,170円	29,700円	31,760円	33,480円	34,780円
学生定期券甲2 (高校生・中学生)	1か月	4,440円	4,830円	5,140円	5,370円	5,530円
	3か月	12,660円	13,770円	14,650円	15,310円	15,770円
	6か月	23,980円	26,090円	27,760円	29,000円	29,870円
学生定期券乙 (小学生以下)	1か月	2,400円	2,630円	2,810円	2,960円	3,080円
	3か月	6,840円	7,490円	8,010円	8,440円	8,770円
	6か月	12,960円	14,180円	15,180円	15,990円	16,610円

〈バス・地下鉄割引連絡定期券〉

バス・地下鉄割引連絡定期券では、市バス・地下鉄それぞれの料金を20%割り引いて設定しています。

乗車券

■一日乗車券・24時間券

区分	発売額	備考
バス・地下鉄共通	バス・地下鉄全線一日乗車券 大人870円、小児430円	
	ドニチエコきっぷ 大人620円、小児310円	土・日・休日及び毎月8日（環境保全の日）
バス専用	バス全線一日乗車券 大人620円、小児310円	
地下鉄専用	地下鉄全線24時間券 大人760円、小児380円	使用を開始した時から24時間（翌日の同時刻まで）地下鉄全線乗り放題です。

●自動券売機で発売（マナカのSF(現金)で購入できます）



バス・地下鉄全線一日乗車券



ドニチエコきっぷ



地下鉄全線24時間券

●駅長室等で発売(改札窓口や市バス車内では、マナカのSF(現金)で購入できます。)



バス・地下鉄全線一日乗車券



ドニチエコきっぷ



バス全線一日乗車券



地下鉄全線24時間券

■記念乗車券

大規模イベント等の機会をとらえて、特別なデザインの乗車券を発売しています。



世界コスプレサミット
ドニチエコきっぷ



にっぽんど真ん中祭り
ドニチエコきっぷ



名古屋まつり
ドニチエコきっぷ



ウィメンズマラソン
ドニチエコきっぷ

マナカは乗車券と電子マネーが1枚になったカードです



manaca

(マナカ)

「日本の真ん中をつなぎ、くらしの真ん中をつなぐICカード」

■マナカの種類

	種類	特徴
記名式マナカ		<ul style="list-style-type: none"> ○カードに記名された本人が使用 ○氏名、性別、生年月日、電話番号の登録が必要 ○紛失しても再発行OK。SFも引き継ぐから安心 ○マナカ定期券への変更OK
無記名式マナカ		<ul style="list-style-type: none"> ○誰でも使用OK ○紛失時の再発行はできません ○記名式マナカ・マナカ定期券への変更OK
マナカ定期券		<ul style="list-style-type: none"> ○カードに記名された本人が使用。ただし、持参人方式の定期券は誰でも使用OK ○氏名、性別、生年月日、電話番号の登録が必要 ○紛失しても再発行OK。SFも引き継ぐから安心 ○チャージ（入金）しておけば定期券区間を乗り越してもSFで自動精算

※記名式マナカとマナカ定期券には、小児用と割引用があります。

- ・小児用マナカ ○自動的に小児料金が適用されます。
○記名人ひとりにつき1枚発行します。
- ・割引用マナカ ○自動的に割引料金（大人）が適用されます。
○介護が必要なお客さまには、介護者用の割引用マナカを発行します。

■マナカの購入方法

- ・発売金額は、1,000円、2,000円、3,000円、5,000円、10,000円の5種類です。（発売金額にはデポジット（預かり金）500円を含みます。利用可能額は、発売金額から500円を差し引いた額です。）
- ・発売場所は、地下鉄駅（券売機、改札窓口、駅長室及び交通局サービスセンター（定期券うりば））及び市バス営業所※です。
※市バス営業所は、発売金額2,000円の無記名式マナカのみ

■クレジットカード対応券売機

名古屋駅・栄駅・金山駅に設置のピンク色の券売機において、クレジットカードでマナカ定期券が購入できます。

クレジットカード対応券売機では、始発から終発まで購入できます。



■manaの特徴

◆名古屋も全国も1枚で！

市バス・地下鉄をはじめ、あおなみ線、ゆとりーとライン、名鉄電車、名鉄バス、豊橋鉄道、リニモでも使えます。

manaをはじめ全国の10の交通系ICカードがマークのある全国の鉄道・バスで使えます。

◆敬老バス・福祉特別乗車券も！

敬老バス・福祉特別乗車券もmanaで発行されます。

◆manaだけのサービス！

○manaマイレージポイント

ポイントがたまる

- ・1枚のmanaで1か月間（毎月1日～末日）に市バス・地下鉄を2,000円以上（小児用・割引用は1,000円以上）利用すると、SF（現金）の合計利用金額に応じて基本ポイントがたまります。
- ・平日昼間（10時から16時まで）に利用すると、基本ポイントに上乗せしてとてもお得な平日昼間ボーナスポイントがたまります。

【基本ポイント】

区分	1か月間(毎月1日～末日)の合計利用金額		ポイント率
	大人用mana	小児用・割引用mana	
市バス	15,000円以上	7,500円以上	4%
	10,000円以上 15,000円未満	5,000円以上 7,500円未満	3%
地下鉄	5,000円以上 10,000円未満	2,500円以上 5,000円未満	2%
	2,000円以上 5,000円未満	1,000円以上 2,500円未満	1%

【平日昼間ボーナスポイント（平日10時～16時利用分・基本ポイントに上乗せ）】

区分	1か月間(毎月1日～末日)の合計利用金額		ポイント率
	大人用mana	小児用・割引用mana	
市バス	2,000円以上	1,000円以上	30%
地下鉄	2,000円以上	1,000円以上	20%

※基本ポイント・平日昼間ボーナスポイントともに合計利用金額の1,000円（小児用及び割引用は500円）未満の金額は切り捨てられます。

ポイントを使う

- ・ポイントを利用するには、センターシステムに記録されたポイント（センターポイント）を、お持ちのmanaに移しかえること（これを「ポイント還元」といいます。）が必要です。
- ・ポイント還元するには、地下鉄駅の券売機・精算機でポイント「還元」ボタンを押して、お持ちのmanaに移しかえてください。ポイントは還元せずに1年間経過すると失効しますので、ご注意ください。
- ・還元したポイントは、市バス・地下鉄などの乗車料金のみに使えます。（電子マネーとしての利用はできません。）
- ・還元したポイントには利用期限はありません。

○乗継割引

市バスと市バス、市バスと地下鉄などを90分以内に乗り継ぐと、大人用80円（小児用40円）割引になります。

◆電子マネーでお財布代わり！

manaにチャージ（入金）したSF（現金）は、電子マネーとしてマークのあるお店、自動販売機、コインロッカー、自転車駐車場等でご利用いただけます。

◆環境にやさしい！

チャージ(入金)して、また定期券を書き換えて、くりかえし使えます。

- ・ マナカは、チャージ(入金)してくりかえし利用できます。
- ・ チャージ(入金)は、1,000円単位で最大20,000円まで行うことができます。
- ・ 地下鉄駅の券売機や精算機、改札窓口、駅長室、市バス車内及び交通局サービスセンター(定期券うりば)並びにコンビニエンスストア等でもチャージ(入金)できます。また、あおなみ線・名鉄電車・豊橋鉄道・リニモの駅、ゆとりーとライン・名鉄バスの車内のほか、 マークのある全国の鉄道・バス等でもチャージ(入金)できます。

■■■ マナカチャージ券(名古屋市交通局ギフトカード)によるチャージ(入金) ■■■

- ・ マナカチャージ券とマナカを地下鉄駅(上小田井・上飯田を除く)の改札窓口もしくは駅長室または交通局サービスセンター(定期券うりば)にお持ちください。
- ※ マナカチャージ券ではマナカの購入はできません。
- ※ マナカ以外の他社カードへのチャージ(入金)はできません。



■■■■ オートチャージサービス ■■■■

オートチャージサービスとは、マナカ(株)名古屋交通開発機構が発行したものに限り、)を利用して、地下鉄駅の改札機(上小田井、上飯田を除く85駅)にタッチして入場する際、チャージ残額が一定金額以下の場合に、クレジットカードから自動的に指定した金額がチャージされるサービスです。

オートチャージサービスのご利用により、「現金をチャージする手間が省ける」「チャージ残額を気にせず乗車ができる」「マナカ電子マネーでのお買い物もしやすくなる」など、様々なメリットを体感していただけます。



オートチャージサービスのご利用は、クレジットカードと一体となったwellow card マナカを利用する方法とクレジットカードであるwellow cardと記名式マナカ・マナカ定期券をリンクする方法の2通りから選択できます。

wellow card マナカ	wellow card
市バス・地下鉄の定期券をのせることができます。	他交通機関の定期券をのせたマナカ、敬老パス、福祉特別乗車券ともリンクできます。

◆安心！

記名式マナカ・マナカ定期券を紛失した場合は、S F (現金・ポイント)や定期券の情報を引き継いで再発行できます。

取扱場所は、地下鉄駅長室及び交通局サービスセンター(定期券うりば)です。

市バスのあらし



市バスは市民の日常生活を支えるために欠くことのできない交通手段であり、その機動性を活かして、きめ細かなサービスを提供しています。

市域内の新たな道路や施設の整備状況等をふまえたバス路線の整備のほか、利用状況や運行実態をふまえたダイヤ改正などを適宜実施し、定時運行の確保やご利用いただきやすいバスサービスの提供に努めています。また、鉄道網と一体となって需要に応じた効率的な運行サービスを提供するため、鉄道網との連携強化と運行の効率化に取り組んでいます。

令和7年4月現在、市内のほぼ全域において165系統、営業キロ764.6kmで営業を行っており、市内におけるバス路線の約9割を市バスが担っています。

乗車人員は、平成18年度以降、新たな乗客サービスの提供等により増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は約26万人にまで減少しました。令和6年度（見込）は、令和5年度よりも3%増の約31万人/日となりましたが、コロナ禍前の令和元年度と比べると約4万人/日減（11%減）となっています。

バス路線整備の基本的な考え方

現在、交通局では、ご利用いただきやすい市バスをめざし、バス路線の整備については次の考え方を基本として実施しています。

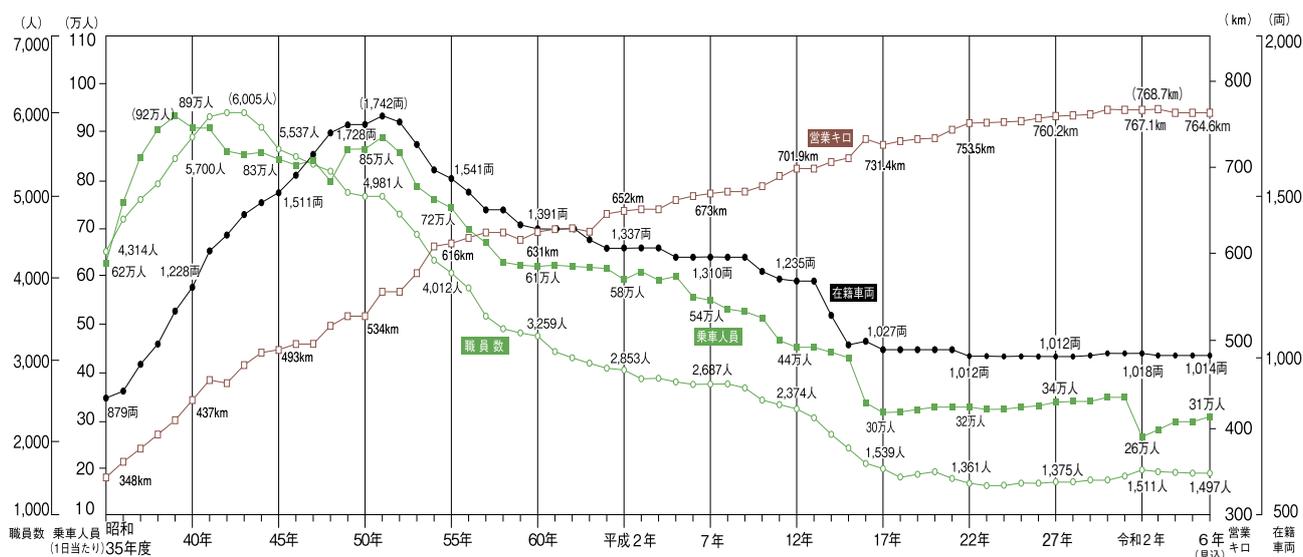
- 500mでバス停に到達できることや、バス路線の間隔を1kmとすることを基準とする。
- バス路線相互や地下鉄等との競合・並行を避け、路線網の集約化、効率化を進める。
- 需要に応じた運行回数を設定するとともに、需要がわずかであっても1時間に1回の運行に努める。

区分	数量	
営業キロ	764.6km	
系統数	165系統	
系統長（平均）	7.5km	
停留所数	1,477停留所	
停留所間隔（平均）	410m	
車両数	1,014両	
1日 当たり	運転キロ数	98千km
	乗車人員	31万人
	運輸収益	42,474千円

（注1）運輸収益は消費税抜きの数値

（注2）1日当たり運転キロ数、乗車人員、運輸収益は令和6年度決算（見込）、その他は令和7年4月現在

市バス事業の推移



(注1) 図中の数値は、各年度の決算値であり、昭和35年度を初年度とした5年ごとの推移を示す。なお、()内の数値は、それぞれの最高値を示す。
 (注2) 貸切を含む。

多様なバスサービス

市バスの運行にあたっては、お客さまのニーズや利用実態をふまえた、より利便性の高い運行サービスを提供するため、系統別、時間帯別、バス停別の乗車人員、利用区間、お客さまの属性等をきめ細かく調査するとともに、バス停勢圏の人口の集積、集客施設の設置状況等の地域の特性をふまえ、基幹バス、地域巡回バスなど、多様な運行サービスを提供しています。

基幹バス

基幹バスは、昭和54年に「名古屋市総合交通計画調査研究報告書」の中で提案された基幹バス構想の中で、地下鉄の代替または補完する交通機関として、名古屋市の公共交通路線網を構成するものと位置づけられました。

それを受けて「名古屋市基幹バス調査委員会」などの会議体が設置され、その中で、昭和56年度中に東郊線（基幹1系統）で路側走行方式による運行を行うこと、昭和57年度以降に新出来町線（基幹2系統）で中央走行方式による基幹バスの運行を行うことが決定されました。

基幹バス東郊線（基幹1系統）

- ・昭和57年3月から運行を開始しました。
- ・路側走行方式を採用し、丸田町～星崎は日曜・休日を除く7～9時はバス専用レーンとなっています。
- ・栄～星崎（鳴尾車庫・笠寺駅）を平日に208回運行しています。

基幹バス新出来町線（基幹2系統）

- ・昭和60年4月から運行を開始しました。
- ・一部区間を除いて中央走行方式を採用し、桜通大江～引山は平日7～9時と17～19時の間は基幹バス専用レーン（その他の曜日・時間帯は優先レーン）となっています。また、共同運行している名鉄バスの乗車方式と同じ、後乗り・前降り方式としています。
- ・栄～引山（四軒家）及び名古屋駅～猪高車庫を、専用車両（50両）により、平日に410回運行しています。



基幹1系統



基幹2系統

■地域巡回バス

地域巡回バスは、地域の日常生活に密着した区役所、病院などの公共施設や大規模商業施設などを結ぶバス路線として、平成16年10月から運行を開始しました。

各区・支所に1系統ずつ、全区で22系統を運行しており、一般バスに比べて短い間隔で停留所を設置しています。また、運行時間帯については、9時台から16時台の8往復の運行に加えて、8時台または17時台に1往復の計9往復を運行しています。



地域巡回バス

■都心ループバス (C-758系統)

都心ループバスは、都心部のみを運行するバス路線を設定することで、買い物など徒歩で移動している方の潜在需要を掘り起こし、徒歩からバスへの転換を図ることを目的に、平成10年5月から運行を開始しました。

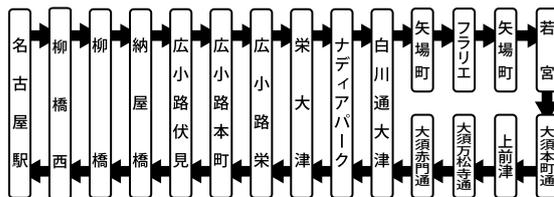
名古屋駅から栄・矢場町方面を昼間時に10分間隔で巡回していましたが、平成29年4月から大須地区に延伸し、1日当たりの運行本数も52本から54本へと増便しました。

訪日外国人旅行者の方への利便性向上のため、系統名を従来の「栄758」から「C-758」に変更し、新たに「C-758」系統のロゴマークを設定するとともに、停車するバス停留所やバス車両に掲出しています。また、バス車内に液晶式表示装置を1両あたり2台設置し、日本語に加え英語、ハングル、簡体字・繁体字の中国語による案内を行っています。

令和4年7月12日からメーグル1DAYチケットでも乗車できるようになりました。



都心ループバス外観と車内イメージ



C-758系統 路線図



定時運行をめざす取り組み

■ バスレーン

自動車の増加は交通渋滞を引き起こし、バスの走行環境を悪化させます。走行環境の悪化に伴い、昭和36年に時速約16km台だった市バスの表定速度は、現在では時速約12km台になり、またバス運行の定時性も損なわれがちです。

バスレーンは、特定の車線で時間帯を限ってバス専用または優先とするもので、バスの走行環境の改善にきわめて有効です。

現在では21レーン（74.54km）に及ぶバスレーンが、県公安委員会によって設置されています。

バスレーン設置状況（令和7年4月1日現況）



■ バスレーン監視活動

バスレーンの機能を維持し、バスの円滑な運行を確保するため、バスレーンに監視員を配置して、規制時間中におけるバスレーン内への進入車両の監視やレーン外への誘導等の活動を行っています。



バスレーン監視

■ バス停周辺における違法駐停車監視活動

バスが円滑にバス停に発着し、お客さまが安全に乗降していただけるようにするため、バスターミナルやバス停に監視員を配置して、違法駐停車等の監視や啓発活動を行っています。



違法駐停車監視

人と環境にやさしく

人にやさしく

■ノンステップバス

乗降口に階段がなく、一般のお客さまはもちろん、お年寄りや車いすをご利用の方にも楽に乗降していただけます。車いすやベビーカーをご利用のお客さまがそのまま乗車いただけるよう、スロープ板を備えています。

令和7年4月現在、在籍車両1,014両全車ノンステップバスです。

ノンステップバス車両主要諸元

車両区分	定員 (座席)	車両寸法 長×幅×高(m)	在籍車両数 (令和7年4月)
大型	76人 (28席)	10.70×2.49 ×3.09	819両
中型	59人 (24席)	8.99×2.30 ×3.04	195両



ノンステップバスへのご乗車の様子

■優先席

乗降口に近い座席を、お年寄りや妊産婦、身体の不自由な方などの優先席とし、優先席であることを分かりやすくするため、シート生地にピクトグラム（絵文字）を印字した車両の導入を進めています。また、外見からは分からなくても援助が必要な方のため、優先席付近にヘルプマークステッカーを掲出しています。

優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りいただくようご協力をお願いしています。



優先席・優先席ピクトグラム

■車いすスペース

全車両に車いすスペースを設けています。

車いすやベビーカーをご利用のお客さまがご乗車される際は、乗車スペース確保のため、既に乗車スペースの座席をご利用のお客さまに席をお譲りいただくなどのご協力をお願いしています。

また、ベビーカーをご利用のお客さまは、ベビーカーにお子さまを乗せたままご乗車いただけます。

（ただし、混雑時等はベビーカーを折りたたんでいただく場合があります。）



車いすスペース

■バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大

市バスに不慣れな方にも安心してご利用いただくため、ピクトグラムを活用した乗換案内、4つ先までの停留所名を表示する経由地案内など、わかりやすい案内が行える液晶式停留所名表示器を順次設置しています。



液晶式停留所名表示器

■バスターミナル

お客さまの利便性向上のため、主な地下鉄駅には、乗り継ぎに便利なバスターミナルを設置しています。

・バスターミナルの環境改善

バスターミナルについては、順次、塗装の塗替えや照明のLED化などを進めています。

また、鳴子北バスターミナルに、ドライ型ミストを設置しています。

地下鉄に接続しているバスターミナル(交通広場含む)

東山線	名城線	鶴舞線
八田	金山	上小田井
中村公園	黒川	植田
本陣	大曽根	原
名古屋	茶屋ヶ坂	平針
栄(オアシス21)	自由ヶ丘	桜通線
千種	新瑞橋	鳴子北
池下	名港線	徳重
星ヶ丘	六番町	上飯田線
一社	名古屋港	上飯田
上社		
本郷		
藤が丘		

*複数の地下鉄路線に接続している場合は1つの路線に記載しています



栄(オアシス21)西側路上のりば

■タッチパネル式液晶モニター案内板

名古屋駅バスターミナルに、タッチパネル式液晶モニターを備えた案内板を設置し、日本語に加え英語、中国語(繁体字・簡体字)、ハングルによる営業案内・観光情報を提供しています。



液晶モニター案内板

■バス停留所

・バス停留所の整備・改修

停留所で市バスをお待ちいただいているお客さまのために、上屋・ベンチ・照明付標識を順次設置しています。

・バス停留所広告付上屋

一部のバス停留所には、交通局が費用を負担することなく、民間企業が広告料収入でバス停留所の製作・設置・維持・管理を行っており、都会的なデザイン、見やすい大型の時刻表、夜間照明などにより、市バス利用者へのサービス向上を図っています。



バス停留所広告付上屋

環境にやさしく

■アイドリング・ストップバス

ディーゼルバスについては、停車と発進にあわせて、自動的にエンジンの停止・再スタートを行い、無駄なアイドリングをなくします。排気ガスや騒音が減り、燃料の節減にもつながります。

令和7年4月現在、市バス全車両アイドリング・ストップバスです。



アイドリング・ストップバス

■最新の排出ガス規制適合車の導入

更新する全ての車両を最新の排出ガス規制に適合したノンステップバスとしています。

平成29年度より、排出ガスの基準が最も厳しい「2016年規制」に適合したディーゼルバスを導入しており、このバスは排出ガスに含まれる窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）を低減させる装置を備えています。



2016年排出ガス規制適合バス

令和7年4月現在

	導入開始	内容	導入車両数(両)
2016年規制適合バス	平成29年度	平成28年排出ガス規制(2016年規制)対応のディーゼルバス。	457

■燃料電池バス（試行導入）

令和5年4月より、環境局から貸与された燃料電池バス1両を路線バスとして運行しています（試行導入）。水素を燃料として走行時に温室効果ガスや大気汚染物質を排出しない環境にやさしい車両です。鳴尾営業所に在籍し、主に基幹1系統で運用しています。

燃料補給のための水素ステーションへの回送や水素ステーションの定期点検による休業時の対応、車両故障時の対応等について検証を行っています。



■バス停標識・バスターミナル照明のLED化

環境負荷を低減するため、バス停標識及びバスターミナルの照明を、省エネ効果が高いLEDへ改修を進めています。

■エコドライブの推進

エコドライブ運転向上のための研修や、デジタルタコグラフ付ドライブレコーダーを活用した運転の振り返りなど、エコドライブの取り組みを実施しています。



地下鉄のあらまし

地下鉄は、高速で定時性を有し、大量輸送が可能な公共交通機関として、昭和32年11月に東山線名古屋・栄町間で営業を開始しました。その後、順次、路線を延長し、現在は6路線93.3kmの路線網により、市内交通の基幹的な役割を果たしています。

平成16年10月6日の名城線名古屋大学・新瑞橋間5.6kmの開業により、1周26.4kmの地下鉄環状線が完成し、全国初の地下鉄の環状運転を行っています。

名城線の環状化により、東山線をはじめとする地下鉄他路線との接続駅も増え、目的地までの所要時間の短縮、利用料金の低減など地下鉄路線網として利便性・効率性がさらに向上しました。

また、平成23年3月27日には、桜通線野並・徳重間が開通し、営業キロが93.3kmとなりました。

1日当たりの乗車人員については、市バス同様、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により約95万人まで減少しました。令和6年度（見込）は令和5年度と比べて4%増の1日あたり約126万人となりましたが、コロナ禍前の令和元年度と比べると約7万人/日減（5%減）となっています。



区分		数量
営業キロ		93.3km
路線数		6路線
駅数		87駅
駅間隔（平均）		0.982km
車両数		782両
1日 当たり	運転キロ数	177km
	乗車人員	126万人
	運輸収益	201,817千円

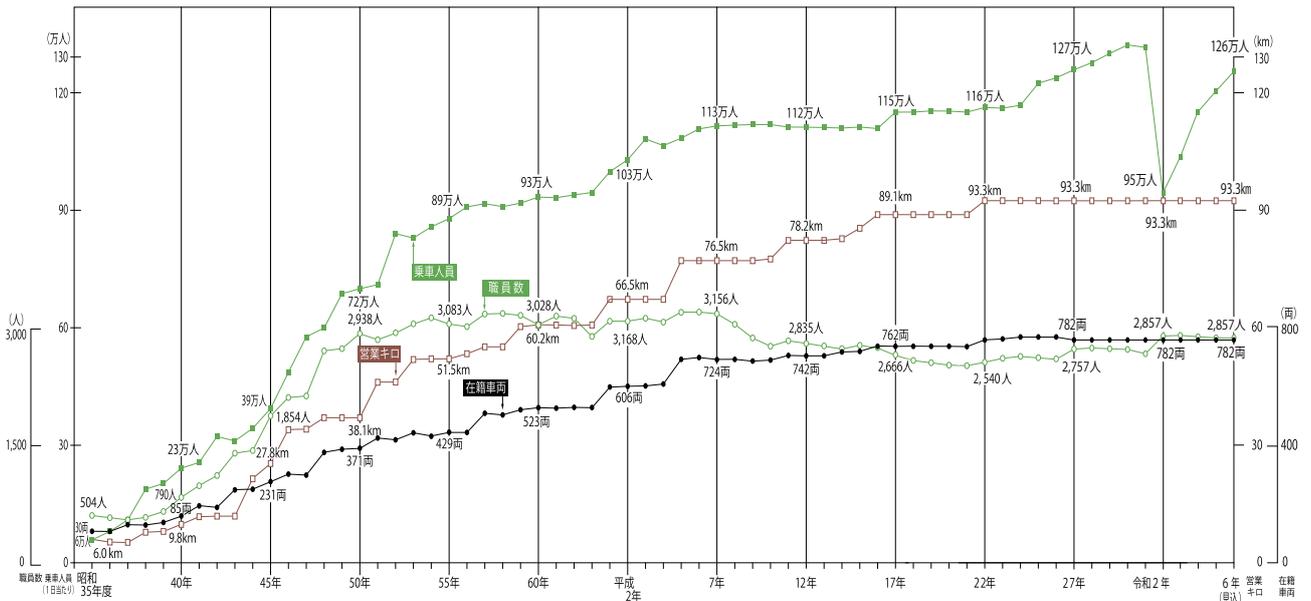
(注1) 運輸収益は消費税抜きの数値

(注2) 1日当たり運転キロ数、乗車人員、運輸収益は令和6年度決算（見込）、その他は令和7年4月現在

■名古屋近郊路線図



■地下鉄事業の推移



(注1) 図中の数値は、各年度の決算値であり、昭和35年度を初年度とした5年ごとの推移を示す。
 (注2) 職員数には建設従事職員を含まない。

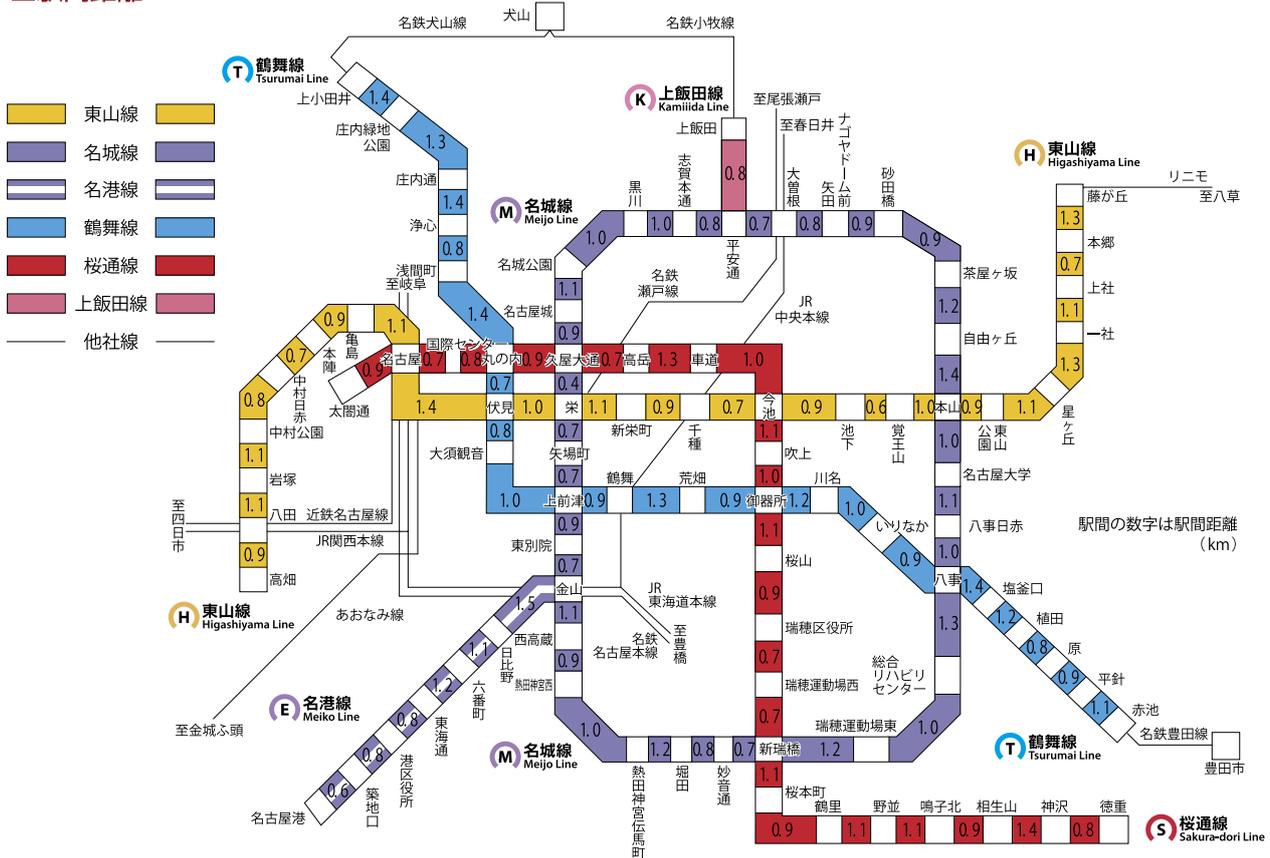
営業線のあらし

項目	線名	東山線	名城線	名港線	鶴舞線	桜通線	上飯田線	
営業	営業区間	高畑～藤が丘	大曽根～大曽根	金山～名古屋港	上小田井～赤池	太閤通～徳重	上飯田～平安通	
	営業キロ	20.6 km	26.4 km	6.0 km	20.4 km	19.1 km	0.8 km	
	駅数(注)	22駅	28駅	7駅	20駅	21駅	2駅	
	平均駅間距離	0.982 km	0.941 km	1.000 km	1.076 km	0.956 km	0.800 km	
運	所要時分	40分	60分(環状運転)	12分	39分	37分	2分	
	運	朝 ラッシュ時 (平日)	朝2分 夕3分	大曽根～栄～金山 朝3～3.5分 夕3.5分 大曽根～名古屋大学～金山 朝6～7分 夕7分	朝5～6分 夕6～7分	朝4.5分 夕6分	朝4分 夕6分	朝8.5分 夕10分
			間	5分	大曽根～栄～金山 5分 大曽根～名古屋大学～金山 10分	10分	10分	10分
車	車両組成	6両	6両	6両	6両	5両	4両	
車	在籍車両数	288両(48編成)	216両(36編成)	150両(25編成)	120両(24編成)	120両(24編成)	8両(2編成)	
	定員 (座席)	先頭車	96人(32人)・97人(31人)	97人(34人)・96人(32人)	138人(46人)・136人(45人)	138人(45人)・127人(48人)・ 136人(45人)	128人(39人)	
中間車		107人(40人)・106人(37人)	107人(40人)	152人(54人)・147人(51人)	152人(54人)・140人(54人)・ 147人(51人)	135人(46人)		
軌道・電	軌間	1,435mm	1,435mm	1,067mm	1,067mm	1,067mm		
	電気方式	サードレール式600V(直流)	サードレール式600V(直流)	架空線式1,500V(直流)	架空線式1,500V(直流)	架空線式1,500V(直流)		
信号・通	信号設備	ATC・ATO	ATC・ATO	ATC	ATC・ATO	ATC		
	通信設備	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置		
相互直通区間	-	-	-	犬山～(21.4キロ) ～上小田井～赤池～ (16.6キロ)～豊田市	-	犬山～(20.6キロ) ～上飯田～平安通		
1日当たり乗車人員	475,401人	382,456人	192,690人	195,054人	195,054人	17,416人		

(注) 交差駅は、それぞれの路線に含める。

1日当たりの乗車人員は令和6年度決算(見込)
 その他は令和7年4月現在

■ 駅間距離



■ 駅別乗車人員 (1日当たり)

駅名	乗車人員	(万人)				
		1	2	3	4	5
高畑	10,201	■				
八田	7,724	■				
岩塚	8,348	■				
中村公園	12,176	■				
中村日赤	4,665	■				
本陣	9,128	■				
亀島	6,772	■				
名古屋	185,780	■	■	■	■	■
伏見	48,420	■				
栄	105,701	■	■	■	■	■
新栄町	15,814	■				
千種	24,494	■				
今池	23,160	■				
池下	12,340	■				
覚王山	8,934	■				
本山	14,756	■				
東山公園	8,088	■				
星ヶ丘	22,976	■				
一社	13,087	■				
上社	9,975	■				
本郷	10,568	■				
藤が丘	29,273	■				
大曽根	17,868	■				
平安通	6,162	■				
志賀本通	7,294	■				
黒川	13,678	■				
名城公園	6,443	■				
名古屋城	22,104	■				

駅名	乗車人員	(万人)				
		1	2	3	4	5
久屋大通	26,568	■	■	■	■	■
矢場町	29,062	■	■	■	■	■
上前津	25,271	■	■	■	■	■
東別院	8,395	■				
金山	78,559	■	■	■	■	■
西高蔵	2,731	■				
熱田神宮西	4,171	■				
熱田神宮伝馬町	7,337	■				
堀田	6,588	■				
妙音通	1,882	■				
新瑞橋	12,294	■				
瑞穂運動場東	4,399	■				
総合リハビリセンター	2,949	■				
八事	15,811	■				
八事日赤	5,525	■				
名古屋大学	9,974	■				
自由ヶ丘	6,061	■				
茶屋ヶ坂	7,221	■				
砂田橋	6,945	■				
ナゴヤドーム前矢田	10,306	■				
日比野	9,013	■				
六番町	7,000	■				
東海通	7,003	■				
港区役所	4,335	■				
築地口	3,925	■				
名古屋港	5,937	■				
(上小田井経由)	11,533	■				
上小田井	8,490	■				
庄内緑地公園	4,159	■				
庄内通	7,342	■				
浄心	7,128	■				

駅名	乗車人員	(万人)				
		1	2	3	4	5
浅間町	5,040	■				
丸の内	18,271	■	■	■	■	■
大須観音	9,566	■				
鶴舞	14,525	■				
荒畑	4,174	■				
御器所	11,325	■				
川名	5,739	■				
いりなか	6,790	■				
塩釜口	11,324	■				
植田	7,748	■				
原	9,021	■				
平針	7,359	■				
赤池	10,003	■				
(赤池経由)	17,678	■				
太閤通	6,835	■				
国際センター	6,236	■				
高岳	9,159	■				
車道	6,787	■				
吹上	7,194	■				
桜山	12,287	■				
瑞穂区役所	7,347	■				
瑞穂運動場西	3,561	■				
桜本町	3,694	■				
鶴里	3,022	■				
野並	6,064	■				
鳴子北	4,611	■				
相生山	4,060	■				
神沢	2,922	■				
徳重	10,123	■				
(上飯田経由)	14,402	■				
上飯田	2,307	■				

令和6年度決算(見込)

駅施設のあらまし

線名	駅名	ホーム形式と規模 幅×長さ	ホーム までの深さ	エスカ レーター	エレ ベーター	出入口数	バリアフリー トイレ
東 山 線	高畑	島式 8.7×110	15.8	6	2	5	2
	八田	〃 9.9×110	18.4	6	2	4	2
	岩塚	〃 8.7×110	18.8	6	2	4	2
	中村公園	相対式 5.0×110	13.3	3	3	6	2
	中村日赤	〃 3.5×109	12.3	2	4	2	2
	本陣	〃 4.0×110	11.0	2	3	4	2
	亀島	〃 4.0×110	11.2	4	3	4	2
	名古屋	島式 9.0×200	8.3	16	7	13	4
	伏見	相対式 4.0×100	5.3	16	6	10	2
	栄	島式 11.0×120	8.5	14	6	17	1
	新栄町	相対式 4.0×104	7.2	—	2	2	3
	千種	〃 5.0×104	8.3	—	3	5	2
	今池	島式 9.0×120	9.2	8	5	12	3
	池下	相対式 4.0×105	6.3	2	2	2	1
	覚王山	〃 3.5×104	9.8	2	3	4	2
	本山	〃 3.8×105	11.0	14	4	6	6
	東山公園	島式 9.0×105	11.4	2	2	4	2
	星ヶ丘	〃 9.0×110	11.6	1	2	6	2
	一社	相対式 3.5×110	8.3	2	3	2	2
	上社	〃 3.7×111	8.5	2	2	4	2
	本郷	〃 4.0×120	8.2	2	2	2	2
	藤が丘	〃 4.0×107	7.8	2	3	3	2
	名 城 線	大曾根	島式 11.4×110	12.6	2	1	6
平安通		相対式 4.0×110	11.9	9	3	5	6
志賀本通		〃 3.5×112	12.9	4	3	4	2
黒川		島式 10.4×110	13.9	2	2	4	2
名城公園		〃 11.0×110	13.3	2	2	2	2
名古屋城		〃 7.2×105	11.2	—	2	7	2
久屋大通		相対式 6.0×110	11.4	7	7	4	3
栄		〃 5.7×106	13.7	東山線 参照			
矢場町		〃 5.1×110	11.4	2	2	6	2
上前津		〃 5.5×105	10.9	4	5	11	2
東別院		〃 3.5×108	11.3	3	3	4	2
金山		島式 10.7×118	12.2	13	3	8	2
西高蔵		相対式 3.5×111	14.2	2	3	2	2
熱田神宮西		〃 4.0×111	11.8	2	3	4	2
熱田神宮伝馬町		〃 3.5×110	12.4	1	3	4	2
堀田		島式 16.2×110	13.6	1	2	4	2
妙音通		相対式 3.5×110	12.9	2	3	2	2
新瑞橋		島式 11.4×110	12.6	10	3	8	1
瑞穂運動場東		〃 8.1×105	19.0	5	3	3	2
総合リハビリセンター		〃 8.0×105	17.3	1	4	2	2
八事		相対式 3.5×105	12.8	13	7	6	4
八事日赤		〃 3.5×105	19.9	7	4	2	2
名古屋大学		島式 9.0×105	22.1	7	2	3	2
本山	〃 8.9×105	23.1	東山線 参照				
自由ヶ丘	相対式 3.5×105	19.0	8	3	2	2	
茶屋ヶ坂	〃 3.5×105	13.8	6	3	2	2	
砂田橋	〃 3.5×105	18.4	6	5	3	2	
ナゴヤドーム前 矢	島式 10.0×105	16.4	4	1	3	2	

線名	駅名	ホーム形式と規模 幅×長さ	ホームま での深さ	エスカ レーター	エレ ベーター	出入口数	バリアフリー トイレ
名 港 線	日比野	島式 11.0×110	14.6	5	2	5	2
	六番町	相対式 3.5×111	14.5	4	3	4	2
	東海通	〃 3.5×110	15.5	3	3	4	2
	港区役所	〃 3.5×110	13.7	2	3	2	2
	築地口	〃 4.0×110	14.7	2	3	4	2
	名古屋港	島式 7.4×110	13.6	3	2	3	2
	上小田井	〃 7.0×170	7.4	4	2	2	1
鶴 舞 線	庄内緑地公園	相対式 3.5×170	17.9	6	3	3	2
	庄内通	島式 8.5×170	18.3	5	2	2	2
	浄心	相対式 3.5×170	16.7	7	4	5	3
	浅間町	〃 3.5×170	20.3	6	3	4	2
	丸の内	島式 10.1×170	18.2	14	8	8	3
	伏見	相対式 7.0×170	17.7	東山線 参照			
	大須観音	〃 3.5×170	17.0	3	3	3	2
	上前津	〃 5.5×170	17.8	名城線 参照			
	鶴舞	〃 3.5×170	13.6	2	3	6	2
	荒畑	〃 3.5×170	15.6	3	3	4	2
	御器所	〃 3.5×175	14.6	10	4	8	1
	川名	〃 3.5×170	13.4	2	3	4	2
	いりなか	〃 3.5×170	14.2	3	3	2	2
桜 通 線	八事	島式 9.5×170	14.4	名城線 参照			
	塩釜口	〃 10.1×170	16.0	1	2	3	2
	植田	相対式 3.5×170	12.6	3	3	3	2
	原	〃 3.5×170	14.2	4	3	2	2
	平針	〃 3.5×170	13.2	3	3	2	2
	赤池	島式 8.6×170	8.7	2	3	3	2
	太閤通	〃 9.1×170	16.5	5	2	4	1
	名古屋	〃 12.1×170	20.2	東山線 参照			
	国際センター	〃 9.6×170	19.7	2	2	4	1
	丸の内	〃 16.0×170	23.9	鶴舞線 参照			
	久屋大通	〃 18.9×170	20.7	名城線 参照			
	高岳	〃 18.9×170	18.9	4	2	4	2
	車道	〃 9.1×170	14.8	5	2	4	1
上 飯 田 線	今池	〃 11.7×170	17.8	東山線 参照			
	吹上	〃 9.1×170	17.0	3	2	7	2
	御器所	〃 10.6×170	21.9	鶴舞線 参照			
	桜山	〃 9.1×170	12.7	3	2	8	1
	瑞穂区役所	〃 7.6×170	12.0	3	2	4	1
	瑞穂運動場西	〃 8.6×170	15.9	7	2	5	2
	新瑞橋	〃 9.6×170	20.2	名城線 参照			
	桜本町	〃 8.6×170	18.2	3	2	4	1
	鶴里	〃 7.6×170	18.3	4	2	2	1
	野並	〃 8.6×170	15.7	9	3	4	1
	鳴子北	〃 6.2×125	14.6	3	2	2	2
	相生山	〃 6.1×125	20.2	2	3	2	2
	神沢	〃 6.2×125	20.0	1	3	2	2
徳重	〃 7.2×125	17.9	6	3	2	2	
上飯田	〃 7.6×130	21.8	7	4	3	2	
平安通	〃 8.6×130	20.3	名城線 参照				

(令和7年4月現在)

車両

地下のトンネル内を走行する地下鉄車両には、厳しい条件が課せられており、高度な安全性を確保しています。

車体はアルミやステンレスにより軽量化を図るとともに、回生制動付VVVFインバータ制御方式を採用して、省エネルギーに優れた制御装置を採用しています。

N3000形（鶴舞線）



6050形（桜通線）



N1000形（東山線）



7000形（上飯田線）



2000形（名城線・名港線）



■車両主要諸元

形式	最大寸法 長×幅×高（ミリ）	定員 （座席）	自重t	出力
5050形（東山線）	15,580×2,546×3,440	96人 (32)	21.9 22.0	モーターは中間車のみ 75kW×4
N1000形（東山線）	15,580×2,548×3,440	97人 (31)	22.7	モーターは中間車のみ 75kW×4
2000形（名城線・名港線）	15,580×2,546×3,440	97人・96人 (34)・(32)	22.0	モーターは中間車のみ 75kW×4
3050形（鶴舞線）	20,000×2,796×4,090	138人 (46)	36.0 30.0	モーターは3150形、 3350形、3750形のみ 170kW×4
N3000形（鶴舞線）	20,000×2,781×4,000	136人 (45)	31.0 31.4※	モーターはN3200形、 N3300形、N3700形のみ 170kW×4
6000形（桜通線）	20,000×2,796×4,140	127人・138人 (48)・(46)	35.2 30.0	モーターは6100形、 6300形、6700形のみ 170kW×4
6050形（桜通線）	20,000×2,779×4,040	136人 (45)	31.3 31.6	モーターは中間車のみ 170kW×4
7000形（上飯田線）	20,000×2,773×4,010	128人 (39)	29.7 29.8	モーターは中間車のみ 170kW×4

車両主要諸元（先頭車を抜粋）

※N3101は28.1、28.3

（令和7年4月現在）

人と環境にやさしく

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも利用しやすく快適で便利な地下鉄をめざしています。

人にやさしく

地下鉄駅

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも安心して快適にご利用いただけるよう、エレベーターやバリアフリートイレなど、バリアフリー施設の整備に努めてきました。

また、目の不自由な方が利用しやすいように、視覚障害者誘導用ブロック、点字による駅構内触知図案内板及び地下鉄改札口・トイレなどに音響・音声案内装置などを整備しています。

■駅リニューアル

開業後50年以上経過した駅について、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を目指し、壁・床・天井・照明などのリニューアルを進めます。

主要駅は名古屋の顔としてふさわしい駅となるよう、個性化を図ります。



駅リニューアル

■駅のリフレッシュ

経年により汚れが目立つ駅において、壁・床・天井などの通常の清掃では落とすきれない汚れに対して特別な清掃などを行い、美観回復を図ります。

■駅構内トイレのリニューアル

訪日外国人や高齢者をはじめ、誰もが快適にご利用いただけるよう、すべての便器の洋式化や温水洗浄便座の設置を進めています。

また、ご利用の多い駅などにあるトイレの壁・床・天井・照明などのリニューアルを進めています。



一般トイレ

■授乳室の設置

お子さま連れでご利用しやすい環境を目指し、名古屋駅、千種駅、伏見駅、名城公園駅、上前津駅及び金山駅（企業寄贈）に設置しています。



授乳室

■子ども・子育てサポートベンチ

お子さま連れの方楽しんでご利用いただき、市バス・地下鉄に親しみを持っていただけるよう、親子で使いやすいベンチなどを駅構内に設置します。



子ども・子育てサポートベンチ

■改札機

車いすをご利用の方も通過できる幅広通路改札機を設置しています。



幅広通路改札機

■ホームと車両の段差・隙間の改善

名城線・名港線において、車いすやベビーカーをご利用の方をはじめ、誰もが乗降しやすくなるよう、ホーム先端部のかさ上げ（スロープ化）やくし状ゴムの設置などを行い、ホームと車両の段差・隙間の改善を進めています。



ホームと車両の段差・隙間の改善

■旅行者向け券売機

名古屋観光に訪れる国内外からの旅行者の方が、より簡単・便利に地下鉄をご利用いただけるよう、観光スポットや駅番号などから地下鉄経路が検索でき、そのまま乗車券の購入が可能な旅行者向け券売機を、名古屋駅・栄駅・金山駅に設置しています。

32インチの大型タッチディスプレイを搭載し、大画面で情報が分かりやすく、直感的に操作が可能。また、日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語の4か国5言語に対応しています。



旅行者向け券売機

■案内サイン

市バス・地下鉄の乗り換えやエレベーター・出入口の位置などをどなたにもわかりやすくご案内するため、ピクトグラムや駅番号を活用した案内サインへの更新を順次進めています。



乗り換え案内サイン

■旅客案内表示装置

地下鉄全駅のホームや改札口に、列車の運行案内を行う案内表示装置を設置しています。

表示部に行先や列車接近案内等の運行情報や営業案内を表示するなど、一つの画面で多くの情報を表示しています。

名城線・名港線、上飯田線は、多言語表示が行えるカラー液晶式になっています。



旅客案内表示装置
(上:LED式、下:カラー液晶式)

■地下鉄駅構内の多言語表示

駅の記号・番号表示と合わせて、地下鉄駅の①出入口、②改札口、③きっぷうりば、④精算機の案内について、日本語（漢字、ひらがな）、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルの5言語表示を行うよう進めています。



多言語表示

■地下鉄運行情報提供大型モニター

地下鉄及び他社線の遅延や運転見合わせなどの運行情報を、誰にもわかりやすく提供するため、画像や多言語で表示する大型モニターを、名古屋駅、栄駅、金山駅の改札口付近に設置しています。



地下鉄運行情報提供大型モニター

■タブレット端末

訪日外国人や聴覚に障害のある方などへの対応や、駅周辺情報等について音声、文字、画像で案内を行うため、タブレット端末を全駅に配備しています。

■自動体外式除細動器（AED）の設置

駅においてお客さまが、突然、心停止状態に陥った時に備え、自動体外式除細動器（AED）※を改札口付近に設置しています。

平成 17 年度から設置を開始し、平成 22 年度末までに全駅（名鉄管理駅：上小田井、上飯田駅除く）に設置しました。

※ 自動体外式除細動器（AED）とは、心臓が小刻みに痙攣し、血液を身体全体に送り出すことができなくなる状態（心室細動）の際に、電気ショックを与えて正常な状態を取り戻させるための医療器具で、一般の人でも使用することが認められています。



自動体外式除細動器（AED）

地下鉄車両

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも安心して快適にご利用いただけるよう、さまざまな取組みにより、バリアフリー化を推進しています。

■スタンションポール

お客さまの身体を保持したり、立ち上がりを補助するために、座席シートにスタンションポールを設置しています。また、定員着席のための座席区分を明確にしています。



スタンションポール

■車内扉位置点字標示

目の不自由なお客さまに対し、地下鉄車内の乗車位置が確認できるよう、車両扉の車内側に点字による標示を掲出しています。

■優先席

各車両の連結部付近の座席を、お年寄りや妊産婦、身体の不自由な方などの着席を優先的にお願いする優先席を設けており、優先席であることや優先席を必要とする人を分かりやすくするため、ピクトグラム（絵文字）を利用したステッカーを掲出しています。

また、外見からは分からなくても援助が必要な方のため、優先席付近にヘルプマークステッカーを掲出しています。

優先席付近では、混雑時にも携帯電話の電源をお切りいただくようご協力をお願いしています。



優先席



■ 車いすスペース（ベビーカースペース）

車いすをご利用のお客さまにも安心してご乗車いただくため、車いすスペースを設置しています。

また、ベビーカーをご利用のお客さまもご利用いただきやすいようにベビーカーマークも表示しています。



車いすスペース
(ベビーカースペース)

■ 女性専用車両

痴漢等迷惑行為の防止対策として、お客さまに安心して地下鉄をご利用いただけるよう、女性専用車両を運行しています。

東山線では、平成27年4月1日より、平日の始発から終発までに運行時間帯を拡大しました。

また、平成28年7月4日から、名城線・名港線において、始発から午前9時まで女性専用車両を運行しています。

■ 液晶式車内案内表示装置（ハッチービジョン）

車内には、次の駅名、行先等を案内する車内案内表示装置を設置していますが、東山線、鶴舞線、桜通線の新型車両には、液晶画面で案内するハッチービジョンを導入しています。また、訪日外国人の方の利便性向上を図るため、日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルの5言語表示をしています。



液晶式車内案内表示装置
(ハッチービジョン)

環境にやさしく

■ 駅構内及び車内の照明のLED化

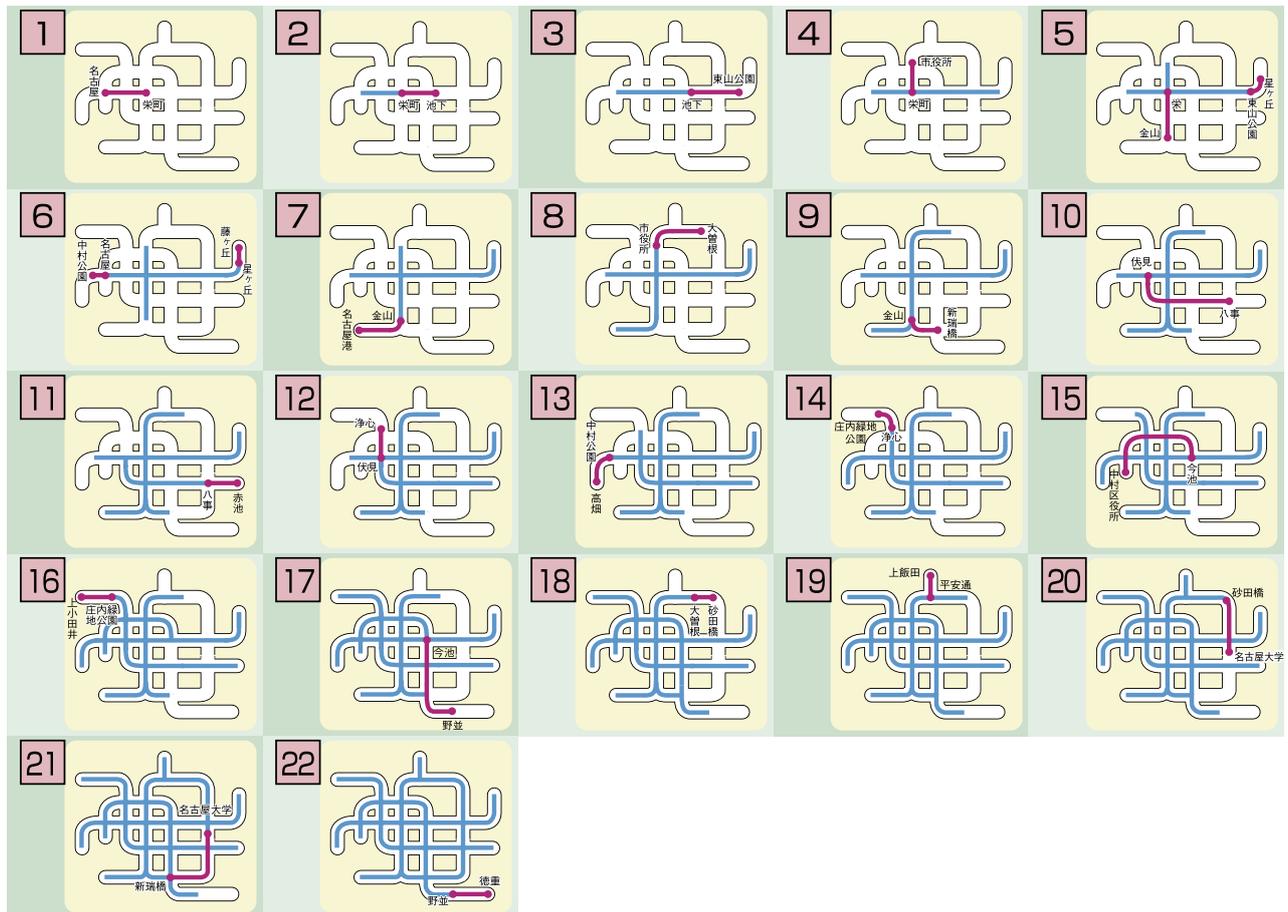
環境負荷を低減するため、駅構内及び車内の照明を、省エネ効果が高いLEDへ改修を進めています。

■ 高圧配電送電ロス削減対策

送電ロスの削減や駅設備への電力供給のさらなる安定化を図るため、東山線各駅への高圧配電の電圧を3,300Vから6,600Vに変更するための整備を進めます。

路線延伸の沿革

No.	年	月	日	概要	営業キロ		建設 キロ	建設費(億円)			
					延長	全線		総額	当分		
1	昭和32	11	15	名古屋 ~ 栄町(現「栄」)	2.4	2.4	2.6	26.6	10		
2	昭和35	6	15	栄町(現「栄」) ~ 池下	3.6	6.0	3.5	37.9	11		
3	昭和38	4	1	池下 ~ 東山公園	2.5	8.5	2.6	48.5	19		
4	昭和40	10	15	栄町(現「栄」) ~ 市役所(現「名古屋城」)	1.3	9.8	4.6	99.9	22		
5	昭和42	3	30	栄 ~ 金山 東山公園 ~ 星ヶ丘	3.0	13.9				1.2	24.9
6	昭和44	4	1	星ヶ丘 ~ 藤ヶ丘	4.4	21.8	4.7	75.2	16		
				名古屋 ~ 中村公園	3.5		3.8	115.1	30		
7	昭和46	3	29	金山 ~ 名古屋港	6.0	27.8	6.1	237.3	39		
8	昭和46	12	20	市役所(現「名古屋城」) ~ 大曾根	4.6	32.4	4.6	191.3	41		
9	昭和49	3	30	金山 ~ 新瑞橋	5.7	38.1	5.6	264.1	47		
10	昭和52	3	18	伏見 ~ 八事	8.0	46.1	8.4	744.4	89		
11	昭和53	10	1	八事 ~ 赤池	5.4	51.5	5.7	578.7	102		
-	昭和54	7	29	名鉄豊田線との相互乗入れ開始							
12	昭和56	11	27	浄心 ~ 伏見	2.9	54.4	2.9	493.0	168		
13	昭和57	9	21	中村公園 ~ 高畑	3.1	57.5	3.0	608.6	205		
14	昭和59	9	6	庄内緑地公園 ~ 浄心	2.7	60.2	2.8	446.6	162		
15	平成 元	9	10	中村区役所(現「太閤通」) ~ 今池	6.3	66.5	7.5	2,523.2	336		
16	平成 5	8	12	上小田井 ~ 庄内緑地公園 名鉄犬山線との相互乗入れ開始	1.4	67.9	1.4	396.0	273		
17	平成 6	3	30	今池 ~ 野並	8.6	76.5	8.3	1,775.4	213		
18	平成12	1	19	大曾根 ~ 砂田橋	1.7	78.2	6.2	1,609.8	258		
19	平成15	3	27	平安通 ~ 上飯田 名鉄小牧線との相互乗入れ開始	0.8	79.0					
20	平成15	12	13	砂田橋 ~ 名古屋大学	4.5	83.5					
21	平成16	10	6	名古屋大学 ~ 新瑞橋	5.6	89.1	5.1	937.4	184		
22	平成23	3	27	野並 ~ 徳重	4.2	93.3	4.1	671.5	164		



交通局は、市バス・地下鉄の施設や車両等を有効活用することで収入を得ています。

具体的には、局施設・車両内などにおける広告媒体の提供、賃貸ビルの貸付け、駅構内におけるお客さまの利便性向上のための店舗・自動販売機などの設置などにより収入を得て、それを市バス・地下鉄両事業の健全な経営の一助としています。令和6年度は約58億円の収入がありました。

■ 広告事業

市バス・地下鉄は、市域のほぼ全域で毎日多くのお客さまにご利用いただいていることから、広告効果が高く、多くの皆さまに広告を掲出していただいています。

市バスでは、車体全体に広告をデザインする「ラッピングバス広告」、車体外側に看板を掲出する「外側板広告」、車内窓上にポスターを掲出する「額面広告」などにより、広告料収入を得ています。

地下鉄では、全車両に掲出される「中吊広告」、名古屋駅東山線ホーム壁面総延長94mの「名古屋駅ビッグウォールセット広告」、PRスペースを兼ね備えた大型ボード「名古屋駅サンフラワーボード広告」のほか、動画等による情報発信が可能なデジタルサイネージ「ナゴヤサブウェイビジョン広告」、「スクエアビジョン広告」、「名古屋駅南改札ビジョン広告」などにより広告料収入を得ています。



ラッピングバス広告



名古屋駅スクエアビジョン広告



栄駅スクエアビジョン広告



名古屋駅南改札ビジョン広告



ナゴヤサブウェイビジョン広告
(地下鉄東山線車内)

■賃貸ビル・地下街等

通勤や通学のお客さまが毎日多くご利用になる地下鉄駅やバスターミナルの敷地に建設したビルを賃貸するとともに、駅構内のスペースを地下街として有償で使用を許可しています。また、地下鉄換気口用地等を駐車場用地などとして賃貸しています。

■店舗・自動販売機等

地下鉄駅やバスターミナルにおいて、お客さまの多様なニーズに応じて、店舗・自動販売機・ATM・モバイルバッテリーレンタルスタンド・宅配ロッカー等を設置しています。



藤が丘駅店舗

■伏見駅ナカ商業施設

伏見駅構内において、駅の利便性及び魅力向上を図るため、「ミチからマチへ～ Fushimi Crossing Place～」を事業コンセプトに、多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ商業施設「ヨリマチ F U S H I M I」を整備し、令和元年12月11日に開業しました。「普段使いをより魅力的に」をテーマに、駅利用者の日常生活に魅力を添える商品やサービスを揃えた店舗が出店しています。



■携帯電話等通信

お客さまに携帯電話等をご利用いただけるよう、通信事業者等が地下鉄駅及びトンネル内の局施設を有償で使用し、通信環境を整備しています。

■一日乗車券の特典と「なごや得ナビ」

ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券・24時間券を提示すると、市バス・地下鉄沿線の観光施設や飲食店などで、料金割引やワンドリンクサービス（※お食事された方へのサービス）などの特典を受けることができます。

特典を受けられる施設や飲食店を紹介した特典ガイドブック「なごや得ナビ」を年3回発行し、地下鉄各駅などで配布するほか、交通局ウェブサイトと同様の情報を掲載しています。

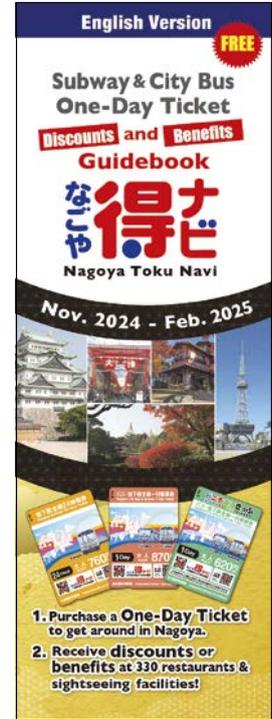
また、外国人観光客向け情報の充実を図るため、「なごや得ナビ」の英語版冊子を発行し交通局ウェブサイトに掲載しています。



なごや得ナビ提携店ステッカー



なごや得ナビ



英語版なごや得ナビ

■戦略的な利用促進策の展開

令和6年度は、敬老バス利用者や観光客などターゲット層を絞り込み、ニーズを捉えた戦略的な利用促進策3事業を「市バス・地下鉄でおトクにめぐろうキャンペーン」と銘打ち新たに実施しました。

令和7年度は、より多くの方に市バス・地下鉄を利用してお出かけする楽しさや魅力を感じていただけるよう、各事業の開催期間や参加店舗数を拡大して実施していきます。

●市バスの利用が少ない若年層がターゲット

『市バスでPetit (プチ) 旅』

令和6年度は、第1弾のスイーツ編にはじまり、パン編、レトロ喫茶編と全3弾にわたって開催

- ☑専用デザインのバス・地下鉄全線一日乗車券と対象店舗で利用できる割引クーポン（200円分）がセットになったもの
- また対象店舗で専用乗車券を見せるとさらに割引などの特典を受けられる店舗も！

- ☑令和7年度も夏・秋・冬に実施を予定
- なお、冬には市内大学の学生さんと連携して制作する「学生考案マップ」も発行予定！



●名古屋への観光客がターゲット

『やみつき なごめしきっぷ』

令和6年度は名古屋で開催されるイベントが多い時期にあわせ、8月1日～11月15日の期間で実施

- ☑バス・地下鉄全線一日乗車券と対象店舗で利用できるお食事券をセットにして2,120円で販売
- ☑令和7年度は対象店舗を27店舗→40店舗に、開催期間も半年間に拡大して実施予定
- ☑さらに市内観光施設周遊策と連携することで、事業の魅力をアップ！



●敬老パス利用者がターゲット

『アクティブシニアキャンペーン』

令和6年度は敬老の日（9月16日）を含む9月12日～11月18日の期間で実施

- ☑対象店舗で敬老パスを提示すると割引などの特典を受けられるキャンペーン
- ☑令和6年度は飲食店に加え、入浴施設・映画館等の娯楽施設も新たに追加して全179店舗で実施
- ☑令和7年度は店舗数のさらなる拡大に加え一部の市営施設に無料で入場できる特典も追加予定！



■体験型謎解きイベントの実施

市バス・地下鉄の利用促進策として、体験型謎解きイベントを実施しています。参加者は、専用の一日乗車券がセットになった謎解きキットを購入し、キットに書かれた謎や暗号を解いて目的地を導き出し、市バス・地下鉄で移動し市内を周遊しながら、ゴールを目指します。令和6年度は、イベントを盛り上げるため、今回の謎解きゲームを制作したRIDDLER株式会社の代表、松丸亮吾さんによる「トークショー＆握手会」をオアシス21にて開催しました。また、「名所」「屋内」の3つの謎解きコースを設定し、謎の難易度やご自身の予定・気分などに合わせて自由に選択してお楽しみいただけるようにしました。



■市バスの魅力向上

市バスに乗ってお出かけできる施設などを紹介したマップ「都心ループバスC-758系統ガイドMAP」の日本語版、英語版を、交通局ウェブサイトで公開しています。

また、市バス沿線フォトコンテスト「バス停から半径800メートル 行ってみたいくなる場所」を開催し、交通局ウェブサイト上で入選作品を撮影場所や最寄りのバス停情報とともに公開しました。さらに入選作品を活用した「市バス沿線お出かけ情報」ポスターを掲出するなど、地域の魅力発信や市バスの利用促進に努めています。

【都心ループバスC-758系統ガイドMAP】



日本語版

英語版

【市バス沿線フォトコンテスト】



作品募集ポスター

お出かけ情報ポスター

■ウォーキングイベントの実施

市バス・地下鉄を利用したお出かけを促進するため、ウォーキングイベントを実施しています。

地下鉄沿線の見どころを楽しんでいただくだけでなく、コース上のポイントにちなんだ問題を解きながらウォーキングを楽しむ「ヒラメキさんぽ」は、期間中のお好きな日時に参加いただけるウォーキングイベントです。

令和6年度からは、スマホアプリを利用した「スマホdeウォークスタンプラリー」を実施し、名古屋での将棋の王位戦開催を記念したコースを設定するなど、幅広い年代に楽しんでいただける様々なコースを企画しました。



■プロスポーツチームとの連携

地元プロスポーツチームと連携し、企画乗車券の発売や市バス・地下鉄来場キャンペーン等を行い、試合観戦等に市バス・地下鉄を利用してお出かけいただくことを促すとともに、スポーツ振興にも貢献します。



■Nagoya POP UP ARTIST

駅のにぎわいの創出やお出かけのきっかけづくりのため、平成27年10月から観光文化交流局との共催により、オーディションにより選ばれたアーティストに地下鉄駅構内をはじめ公園や民間施設など17か所（令和7年4月現在）を演奏等の場として提供するナゴヤ・パフォーマー事業「Nagoya POP UP ARTIST」を実施しています。

※交通局においては、今池駅を会場として提供しています。



Nagoya POP UP ARTIST

広報

■交通局ウェブサイト

市バス・地下鉄の運行情報や時刻表、料金情報のほか、検索された乗換経路を地図上で表示する「なごや乗換ナビ」、市バスの現在位置を把握できる「市バス接近情報」など、様々な機能を備えています。

また、乗車券やイベント・グッズの情報、小さなお子さま連れのお客さま向けのご案内や事業概要など、交通局にかかわる様々な情報を掲載しています。

このほか、訪日外国人の方に対応するため、英語・中国語（繁体字・簡体字）、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語のページを公開しています。



「なごや乗換ナビ」検索経路のルート表示



交通局ウェブサイト トップページ



<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/>

■交通局ハッチーキッズサイト

お子さまに市バス・地下鉄に親しんでいただき、「交通局のファン」の芽を育み、将来にわたって市バス・地下鉄の利用を促進するため、主に小学生のお子さまを対象とした特設ウェブサイト「ハッチーキッズサイト」を令和7年2月12日（水）に開設しました。

市バス・地下鉄の乗り方やきっぷの買い方を画像やイラストと共に紹介する「おでかけしよう」や車両を動画と写真で紹介する「図鑑で学ぼう」、実際の映像を使った地下鉄運転シミュレーター「きみも地下鉄運転士」など、楽しみながら学べるコンテンツを公開しています。



交通局ハッチーキッズサイト トップページ



<https://www.kids.kotsu.city.nagoya.jp/>

■交通局公式スマートフォンアプリ「なごや乗換ナビ」

乗換検索と運行情報、市バス接近情報を提供しています。スマートフォンのGPS情報を使用し、現在地からの経路検索を行うことが可能です。



■ SNS

X、Instagram、Facebook、YouTubeで交通局からのお知らせやお出かけ情報などを発信しています。
また、X（運行情報）では日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルで市バス・地下鉄の運行情報を発信しています。



X



X(運行情報)



Instagram



Facebook



YouTube



SNS投稿例

■ 路線図

市バス・地下鉄についての基本情報（地図式の路線図、市バス・地下鉄の料金、主なバスターミナルののりば案内など）を市民・利用者にPRし、サービス向上と乗客誘致を図るため、「市バス・地下鉄路線図」を駅長室などで配布しています。

■ 出張トーク

市営交通事業のことをもっと知っていただくため、地域の団体の方々などに向けて交通局職員が交通局事業を紹介する講座を開催しています。



路線図

意見の聴取

交通局では、お客さまからご意見をいただく取り組みとして、ウェブサイトのご意見受付フォームによる個別意見の聴取やネットアンケートの実施、地域の団体を通じた団体広聴、さらには以下の取り組みを行っています。

■ 市営交通懇談会

市営交通事業についてのご理解とご支援をいただくとともに広く意見をお聞きし、より便利で、ご利用いただきやすい市バス・地下鉄とするため、地域住民の代表の方々から広く声をお聞きする懇談会を開催しています。

問い合わせ・お忘れ物

■交通局サービスセンター（定期券うりば）

定期券をはじめ、各種乗車券を販売しています。
名古屋駅、栄駅、金山駅の3か所で営業しています。



交通局サービスセンター（定期券うりば）

■市バス・地下鉄テレホンセンター

運行時刻、乗車経路、のりば案内、乗車料金などの電話案内を行っています。

☎ (052) 522 - 0111

FAX (052) 951 - 3344

営業時間 8時～19時（年中無休）

■交通局お忘れ物取扱所

お忘れ物について、お客さまからのお問い合わせへの回答、引き渡しを行っています。

交通局栄サービスセンターと併設しています。

☎ (052) 959 - 3847

営業時間 9時～20時
（12月31日、1月3日は10時～17時）
休業日 1月1日・2日



交通局お忘れ物取扱所

展示施設

■レトロでんしゃ館（名古屋市市電・地下鉄保存館）

市電の車両3種（1400型、2000型、3000型）、地下鉄開業時の100形車両や台車などを保存している施設です。一般の方もご覧いただくことができます。

所在地 愛知県日進市浅田町笹原30 日進工場北側

開館時間 10時～16時（入場無料）

休館日 水曜日（水曜日が休日の場合は、その直後の平日）及び年末年始



館内



地下鉄100形



シールドマシン

交通局オリジナルグッズ

■交通局オリジナルグッズ

市バスや地下鉄、マスコットキャラクターの「ハッチー」などのデザインを用いたオリジナルグッズを販売しています。

令和6年度は、名城線環状化20周年記念グッズとして「方向幕フェイスタオル」や「ジェットストリーム4&1 名城線2000形」のほか、リニューアルで不要になった旧制服の生地を使用したアップサイクルグッズ「風呂敷」を含む全8種類のグッズを発売しました。



アップサイクルグッズ
「風呂敷」



「ジェットストリーム4&1
名城線2000形」



「方向幕フェイスタオル」



なごや市バス・地下鉄応援寄附金募集中!

集まった寄附金は、市バス停留所や地下鉄駅のベンチの整備などに活用させていただきます。



オリジナルDVD



応援寄附金



市バス局章



タッチアンドゴー
(ICカード専用パスケース)



鉄道コレクション
東山線5000形 5114
ラストラン仕様



オリジナルピンバッジ

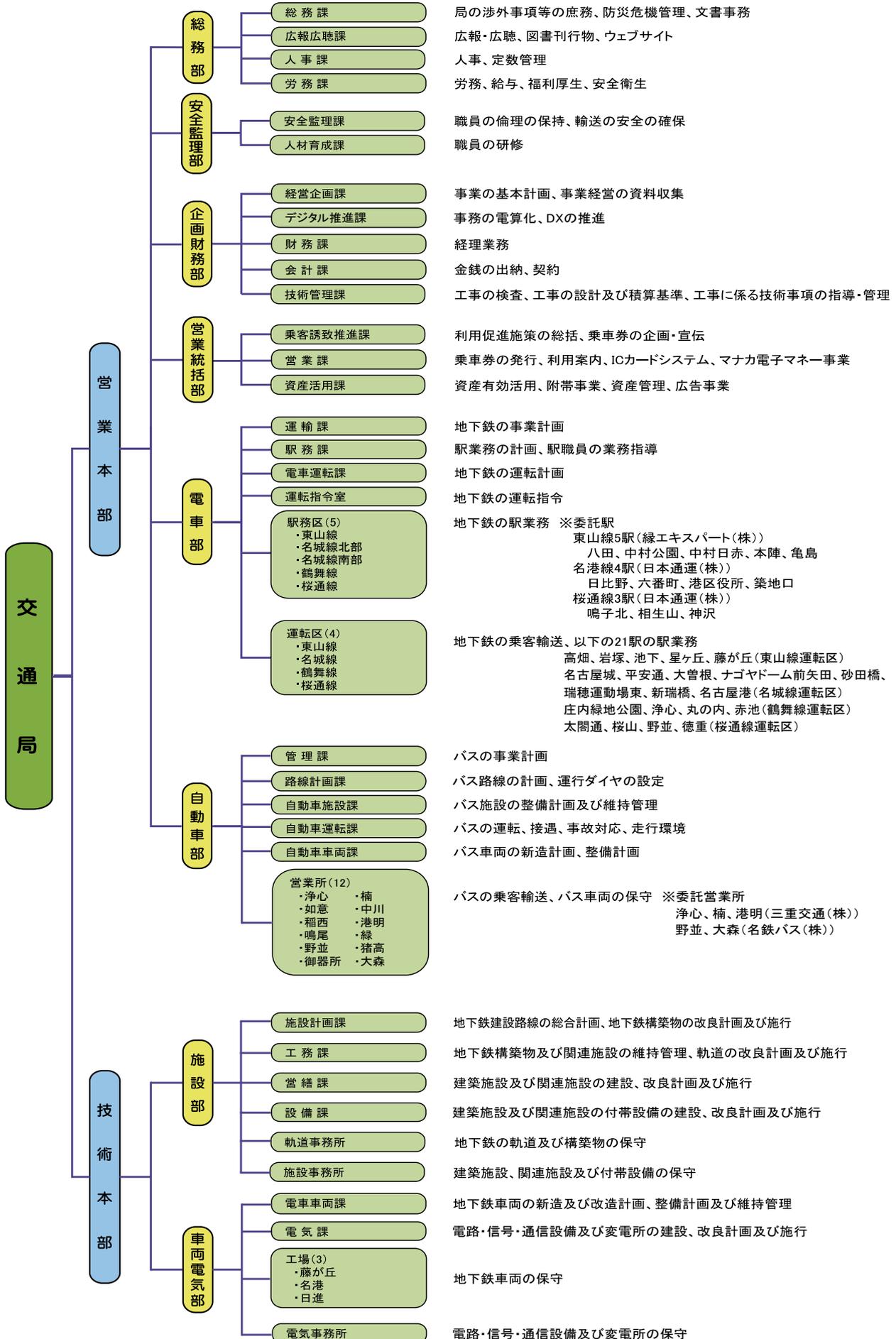


市バス方向幕タオル

魅力的な返礼品をご用意しています

組織図

令和7年4月1日現在



年月日		主要事項
明治31年 (1898)	5. 6	名古屋電気鉄道(株)によって市内電車笹島・県庁前(久屋町)間開通
大正11年 (1922)	8. 1	名古屋電気鉄道(株)から市内線を買収し、市営交通事業開始 名古屋市電気局創設
昭和 5年 (1930)	2. 1	市営バス営業開始
12年 (1937)	3. 1	民営市内電車買収完了
15年 (1940)	2. 1	民営バス市内線買収完了
18年 (1943)	5. 10	無軌条電車(トロリーバス)営業開始
20年 (1945)	10. 2	名古屋市電気局を名古屋市交通局と改称
25年 (1950)	8. 1	貸切バス営業開始
26年 (1951)	1. 16 10. 3 10. 25	無軌条電車(トロリーバス)営業廃止 市営定期観光バス営業開始 バスのワンマン運転開始
27年 (1952)	10. 1	地方公営企業法施行
29年 (1954)	8. 31	地下鉄建設起工式
32年 (1957)	11. 15	地下鉄1号線名古屋・栄町間(2.4km)開通
34年 (1959)	9. 26	伊勢湾台風襲来被害甚大
35年 (1960)	6. 15	地下鉄1号線栄町・池下間(3.6km)開通
37年 (1962)	10. 14	市営定期観光バス営業廃止
38年 (1963)	4. 1	地下鉄1号線池下・東山公園間(2.5km)開通
40年 (1965)	3. 11 10. 15	名古屋市交通事業の5ヵ年計画を発表 地下鉄2号線市役所・栄町間(1.3km)開通
41年 (1966)	2. 20 6. 1	5ヵ年計画に基づくワンマン運転開始 路面電車1系統、バス4系統 地下鉄栄町駅を栄に、伏見町駅を伏見に駅名変更
42年 (1967)	3. 3 3. 25 3. 30	栄バスターミナル設置 第1次財政再建計画策定 地下鉄1号線東山公園・星ヶ丘間(1.1km)及び2号線栄・金山間(3.0km)開通
44年 (1969)	4. 1 5. 1	地下鉄1号線名古屋・中村公園間(3.5km)及び星ヶ丘・藤ヶ丘間(4.4km)開通 地下鉄1号線を東山線に、2号線を名城線に路線名変更
45年 (1970)	6. 1 12. 10	バス2区系統ワンマン運転開始 地下鉄東山線上社駅新設
46年 (1971)	1. 10 3. 29 12. 20	バスレーン設置開始 地下鉄名城線金山・名古屋港間(6.0km)開通 地下鉄名城線市役所・大曾根間(4.6km)開通
47年 (1972)	3. 1	都市交通審議会答申「名古屋圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画」
48年 (1973)	4. 1 8. 1 9. 15 10. 5	バス均一制料金採用 地方公営交通事業の経営の健全化の促進に関する法律施行 70歳以上の人に対し市営交通料金を無料化 バスに優先席設置 市営交通料金無料化を65歳まで拡大
49年 (1974)	2. 8 3. 30 3. 31	第2次再建計画策定 地下鉄4号線金山・新瑞橋間(5.7km)開通 路面電車金山橋・市立大学病院間(3.7km)、大久手 安田車庫前間(1.0km)及び矢田町四丁目・昭和町間(15.1km)廃止をもって全廃
50年 (1975)	2. 4 6. 25 12. 29 12. 31	名古屋バスターミナル開設 名古屋駅冷房開始(初の地下鉄駅冷房) 地下鉄に優先席設置 初もうでのための地下鉄全線終夜運転開始

年月日		主要事項
51年 (1976)	3. 21 4. 1 9. 20 11. 1 11. 29 12. 1	点字案内板・点字ブロック設置開始(今池駅) バス全車両ワンマン運転化 地下鉄関係定期券磁気化、定期券発行機による発行 地下鉄普通乗車券磁気化 地下鉄自動改札機導入開始 東山線終車30分延長
52年 (1977)	3. 18 12. 20	鶴舞線伏見・八事間(8.0km)開通 名古屋市基本構想議決
53年 (1978)	8. 15 10. 1	名城線・4号線終車30分延長 鶴舞線八事・赤池間(5.4km)開通
54年 (1979)	3. 29 5. 29 7. 29	地下鉄自動改札機設置全駅完了 「名古屋市総合交通計画調査研究報告書」において基幹バス構想公表 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転開始
55年 (1980)	1. 4 4. 17 7. 1 7. 28	名古屋市基本計画公表 名古屋市基幹バス調査委員会設置 東山線5000形冷暖房車両の導入 名古屋市バス路線総合整備計画協議会設置
56年 (1981)	2. 14 3. 30 11. 1 11. 27 12. 23	名古屋市交通問題調査会設置 バスロケーションシステム設置 第1回バス・地下鉄の日 鶴舞線浄心・伏見間(2.9km)開通 名古屋市交通問題調査会第1次答申
57年 (1982)	3. 28 9. 21 11. 1	基幹バス第1号東郊線で運行開始 東山線中村公園・高畑間(3.1km)開通 市バス・地下鉄テレホンセンター開設
58年 (1983)	10. 26	名古屋市交通問題調査会第2次答申
59年 (1984)	4. 1 5. 7 9. 6	営業本部制を創設 名古屋市交通問題調査会第1次答申に基づく市バス路線再編成 鶴舞線庄内緑地公園・浄心間(2.7km)開通
60年 (1985)	4. 1 4. 30	地下鉄駅構内全面禁煙実施 基幹バス第2号新出来町線で運行開始(全国初の中央走行方式)
61年 (1986)	4. 1 8. 14	制服の制式 ステンカラー型から背広型に変更 名古屋市基幹公共交通網調査委員会設置
62年 (1987)	2. 19 3. 23	名古屋市交通問題調査会第3次答申 世界デザイン博にむけて「世界デザイン博PR用市バス塗装デザイン」「市バス停留所標識デザイン」「地下鉄出入口上屋デザイン」を一般公募
63年 (1988)	2. 5 3. 1 3. 31 8. 30	名古屋市基幹公共交通網調査委員会答申 プリペイドカード「リリーカード」の発売(使用開始は4月1日から) 第2次再建計画完了 名古屋市新基本計画公表

年月日		主要事項
平成元年 (1989)	4. 1	技術本部制の創設
	6. 10	名城線の2000形冷暖房車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	7. 4	世界デザイン博覧会関連7駅竣工式
	7. 9	金山総合駅供用開始
	7. 15	市制百周年記念事業世界デザイン博覧会開催（～11.26）
	9. 10	桜通線中村区役所・今池間（6.3km）開通 名城線久屋大通駅新設 地下鉄回数券カードの発売開始
10. 2	バスカードシステムのテスト実施開始（基幹1号系統でのリリースカード使用）	
平成 2年 (1990)	12. 5	深夜バス運行開始
平成 3年 (1991)	4. 1	自動車工場において自動車整備事業を開始
	10. 1	バスダイヤ改正の実施（幹線系統の増加等） カードシステムの本格実施
平成 4年 (1992)	1. 10	運輸政策審議会答申「名古屋圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」
	3. 27	低公害バス（ディーゼル・電気ハイブリッドバス）の運行開始
	4. 1	バスのダイヤ（日曜・休日）改正の実施
	11. 20	リフト付バス運行開始
	12. 1	地下鉄池下駅構内にて交通局直営店舗第1号店「DO!池下」開店
平成 5年 (1993)	4. 1	鶴舞線3050形車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	8. 12	鶴舞線上小田井・庄内緑地公園間（1.4km）開通、名鉄犬山線と相互直通運転開始
	9. 27	桜通線車両の輸送力増強の実施（5両組成化）
	10. 1	地下鉄で閑散時間帯における改札口職員の無配置の実施
	10. 7	交通局職員による「違法駐停車等監視活動」専従班の発足
	平成 6年 (1994)	1. 20
2. 16	地下鉄桜通線でワンマン運転開始 桜通線全線に電車緊急停止装置設置	
3. 30	地下鉄桜通線今池・野並間（8.6km）開通 地下鉄鶴舞線上小田井駅における折り返し運転開始	
5. 1	地下鉄駅改札内トイレへのトイレ紙の設置	
6. 5	観覧券付き乗車券「いこまいきっぷ」発売開始	
7. 1	制服の変更	
10. 15	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバスの運行開始	
平成 7年 (1995)	1. 17	低公害バス（圧縮天然ガスバス）の運行開始
	2. 3	節分バスの運行開始
	3. 24	花見バス（4系統）の運行開始
	7. 1	市バス・地下鉄テレホンセンターの充実（営業時間の延長・新電話番号等）

年月日		主要事項
平成 8年 (1996)	3. 27	市営交通資料センターの開設
	4. 1	なごや環境きっぷの発売（毎月1～8日）開始（～平成18年3月8日）
	4. 8	環境保全の日（以後、毎月8日） 鶴舞線平日（昼間）の増発開始
	9. 2	東山線平日（夜間）の増発開始
平成 9年 (1997)	1. 31	名古屋市交通問題調査会第4次答申
	3. 14	超低床ノンステップバスの運行開始
	4. 5	鶴舞線土曜・休日 併用ダイヤの実施
	10. 1	耳や言葉が不自由な方のためにファックスサービス開始（市バス・地下鉄案内所など4カ所）
平成10年 (1998)	3. 12	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバス本格導入
	5. 6	ストアードフェアシステム導入に伴い新カード「ユリカ」発売・使用開始 名古屋市交通問題調査会第4次答申に基づく市バス路線再編成
	10. 1	都心ループバス運行開始
	10. 1	定期券乗降確認システム導入
平成11年 (1999)	3. 1	名古屋市交通局ホームページ開設
	4. 1	地下鉄全駅へ分別ごみ箱を設置
	12. 7	名城線・4号線にLED案内表示器設置
平成12年 (2000)	1. 19	地下鉄4号線大曾根・砂田橋間（1.7km）開通 地下鉄駅券売機に「ユリカ」積み増し機能を設置
	3. 18	なごや城ループバス運行開始
	4. 12	地下鉄車両冷房化率100%を達成
	6. 2	市電・地下鉄保存館（愛称：レトロでんしゃ館）開館
	6. 30	CNG（圧縮天然ガス）ノンステップバスの運行開始
	9. 11	東海豪雨の被害により、市バス・地下鉄の一部区間運休（地下鉄は13日全線復旧、バスは17日全線復旧）
	9. 18	地下鉄車両外側ステッカー広告の開始
12. 16	地下鉄車内の混雑時における携帯電話の電源を切るよう自粛の呼びかけ強化（市バス車内については、H13.3.23より実施）	
平成13年 (2001)	3. 23	ゆとりーとライン（ガイドウェイバスシステム志段味線）運行開始
	7. 2	ラッピング市バスの運行開始
	12. 22	ラッピング地下鉄の運行開始
平成14年 (2002)	3. 15	インターネットによる定期券予約購入申込の受付開始
	3. 25	交通局ホームページに地下鉄駅構内案内図を掲載
	4. 1	公立学校週5日制の実施などに伴い、バスのダイヤ改正（土曜日を中心に運行回数見直し） 携帯電話への市バス・地下鉄時刻表の提供
	4. 6	東山線土曜ダイヤを日曜・休日ダイヤに統合
	8. 1	市営交通事業80周年記念式典・シンポジウム
	9. 30	東山線に女性専用車両を試行導入（始発～9時）
	10. 12	栄バスターミナル（オアシス21のりば）開設

年月日	主要事項
平成15年 (2003)	2. 7 名城線全駅に電車緊急停止装置設置 3. 6 鶴舞線全駅に電車緊急停止装置設置 3. 18 市営交通事業中期経営健全化計画の策定 3. 27 上飯田連絡線の完成により、地下鉄上飯田線 上飯田・平安通間(0.8km)開通、同時に名 鉄小牧線と相互直通運転の開始 鶴舞線の終車延長、カードによる共通利用シ ステム「トランパス」導入 7. 1 バスターミナル、バス停留所の全面禁煙化 12. 13 地下鉄4号線砂田橋・名古屋大学間(4.5km) 開通
平成16年 (2004)	3. 9 地下鉄4号線全駅に電車緊急停止装置設置 3. 27 東山線の保安装置をATSからATCに変更 東山線全駅にLED案内表示器設置 東山線全駅に電車緊急停止装置設置 6. 1 「ループ金山」オープン 10. 6 地下鉄4号線名古屋大学・新瑞橋間(5.6km)開通 名城線・4号線の環状部を名城線に、金山・ 名古屋港間を名港線に路線名変更 地下鉄藤ヶ丘を藤が丘に、瑞穂運動場を瑞穂 運動場西に駅名変更 名城線で環状運転開始 地域巡回系統運行開始 バス運行総合情報システム稼働 11. 1 定期利用サービス「ツカッテイキ」の開始 (H23.1まで)
平成17年 (2005)	3. 4 地下鉄車両工場がISO14001取得 3. 19 ささしま・名城シャトルバス運行開始(～9.25 まで土・日・休日運行) 3. 25 2005年日本国際博覧会「愛・地球博」開催(～9.25) 3. 26 ものづくりと文化のルートバス運行開始 (～9.25まで土・日・休日運行) 4. 1 市バス通勤定期券の持参人方式開始 市バス通勤定期券の「ファミリーバス定期」 サービス開始 5. 29 花バス最後の運行(5.26～5.29) 8. 1 第1期ハッチェキッズクラブ結成(R5まで) 10. 6 名城線環状化1周年記念キャンペーン(～10.10) 11. 15 地下鉄駅等職員のサービス介助士資格取得 11. 29 市バスの系統別営業係数のバス停PR 12. 21 「AED(自動体外式除細動器)」6台を高畑駅等に配備
平成18年 (2006)	2. 1 優先席マークの変更と優先席の増設 3. 29 市営交通事業経営改革計画策定 3. 31 市バスダイヤ改正、地域巡回バス停留所の新設等 4. 1 「なごや乗換ナビ」サービス開始 市バス通勤定期券を全線定期券へ統合、バス 地下鉄全線定期券の値下げ ドニチエコきっぷ、特得60バス定期開始 「こども110番の駅」実施 4. 17 「耳マーク」掲示開始 6. 12 市バス・地下鉄環境家計簿のモニター実施(～7.2) 9. 16 ドニチエコきっぷの事前発売、発売場所の拡充 11. 20 市バス営業所職員等のサービス介助士資格取得

年月日	主要事項
平成19年 (2007)	1. 15 市バス車内に筆談具設置 3. 18 鶴舞線開業30周年記念イベントの開催 3. 19 地下鉄ホームのメロディサイン全線導入 3. 27 地下鉄全駅で公衆無線LANサービス開始 4. 1 大森営業所の管理の委託開始、地下鉄上飯田 線運転業務の委託開始、市バスのダイヤ改正、 「なごや地図ナビ」サービス開始、「会社名等」 で利用できるバス・地下鉄全線定期券の発売 5. 30 交通局OBボランティアの活動開始 11. 1 地下鉄駅ギャラリーの無料化 11. 11 地下鉄開業50周年記念事業メインイベントの開催 12. 7 ISO9001の取得(鳴尾営業所、名古屋駅、栄駅) (H24.3まで)
平成20年 (2008)	2. 23 ドニチエコきっぷ販売数500万枚突破 3. 18 “ありがとう”宣言 4. 1 市バス通学定期券(中学生以上・4キロ超) を全線化、市バスダイヤ改正 6. 2 東山線女性専用車両の運行時間帯拡大(17 時から21時) 9. 1 早期地震警報システムの地下鉄全路線導入 10. 1 「なごや得ナビ」サービス開始
平成21年 (2009)	1. 29 接客コンクール開催 3. 14 JR南大高駅前広場への市バスの乗り入れ開始 3. 18 名城線・名港線の全駅ホームで発車時刻LED案内開始 4. 1 浄心営業所の管理の委託開始 7. 29 鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転30周年記念行事 9. 20 桜通線開業20周年記念イベント開催 10. 1 民営バス撤退に伴う守山区上志段味地区への市バス乗り入れ 10. 3 ドニチエコきっぷ1,000万枚突破
平成22年 (2010)	3. 1 学生定期券の発売 3. 21 市バス開業80周年感謝祭 3. 31 市営交通事業経営健全化計画の策定 8. 4 バイオディーゼル燃料バス運行開始 8. 30 地下鉄駅改札外トイレへトイレットペーパー設置 12. 1 桜通線新型車両へハッチェビジョン(液晶式 車内案内表示装置)設置
平成23年 (2011)	1. 22 地下鉄桜通線可動式ホーム柵使用開始式 2. 11 マナカサービス開始、ユリカ販売停止、学生 定期券の値下げ 2. 28 地下鉄桜通線ダイヤ改正 3. 11 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)発生 3. 27 地下鉄桜通線野並・徳重間(4.2km)開通 バス路線の再編成及び運行の見直し 駅業務委託開始 (名港線：日比野駅・六番町駅・港区役所駅・築地口駅、 桜通線：鳴子北駅・相生山駅・神沢駅) 5. 2 西部医療センターの開設に伴う市バスの乗り入れ

年月日		主要事項	
平成24年 (2012)	3. 1	ユリカ使用停止	
	4. 1	運転指令室を統合 女性用運輸制服等のデザイン変更を実施 野並営業所の管理の委託開始	
	4. 21	マナカ・TOICAの乗車券機能の相互利用開始、JR東海との連絡定期券の発売 クレジットカードによる定期券販売開始(市バス・地下鉄のみ)	
	8. 1	学生がデザインした「三英傑バス」の運行を開始	
	8. 10	広報なごや特集号(エリア別路線図)を名古屋市内の全戸配布	
11. 18	市営交通90周年記念メインイベント		
平成25年 (2013)	3. 20	「地下鉄安全ガイドブック」を駅長室等で配布	
	3. 23	マナカをはじめ全国10の交通系ICカードの全国相互利用サービス開始	
	3. 31	自動車工場閉所	
	4. 5	名古屋市立大学に学生がデザインした「マナカ付学生証」の導入	
	8. 1	地下鉄鶴舞線・名鉄犬山線相互直通運転20周年記念イベントの実施(～9.1)	
	10. 14	駅ちかウォーキング参加者20万人突破セレモニー実施	
	12. 20	東山線最終電車延長の試行実施(2回目12.27)	
12月	市バス・地下鉄累計乗車人員300億人達成		
平成26年 (2014)	4. 1	浄心営業所楠分所を開所(三重交通管理委託)運転と駅務の兼務化試行実施(東山線運転区:高畑駅) バス運行総合情報システムの更新に合わせ、市バス全車両で緊急地震速報の受信開始	
	7. 4	地下鉄東山線の終電時刻延長	
	7. 21	駅ちかコンサート開始	
	9. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の料金改定 「マナーアップトレイン」の運行(～10.31)	
	9. 25	名古屋駅 軌道内冠水による東山線の一時、区間運休	
	9. 30	自動車運送事業の経営健全化計画完了の報告	
	10. 17	姉妹都市とのデザイン交流事業「トリノラッピングバス」の運行(3両・最長6ヵ月間)	
	11. 16	名城線環状化10周年記念イベントの開催	
	12. 12	交通局発売「マナカ200万枚突破キャンペーン」の実施(～12.31)	
	平成27年 (2015)	4. 1	地域巡回バスの運行時間帯の拡大をはじめとした市バスのダイヤ改正等の実施 東山線における女性専用車両の運行時間帯を、平日の始発から終発までに拡大
		5. 1	運転と駅務の兼務化実施(東山線運転区:岩塚駅、名城線運転区:名古屋駅)
7. 4		レトロでんしゃ館 入館100万人達成	
8. 30		東山線5000形車両引退記念イベント(ラストラン)の開催	
9. 7		地下鉄東山線可動式ホーム柵使用開始式	
10. 3		ナゴヤ・パフォーマー事業 「Nagoya POP UP ARTIST」開始	
10. 3		駅ちかウォーキング参加者30万人突破セレモニー実施	
10. 24		駅ちかウォーキング通算開催100回達成	
11. 16		「名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)」の策定	
11. 21		地下鉄駅(85駅)に無料公衆無線LAN「NAGOYA Free Wi-Fi」を整備完了	
12. 1		市バス・地下鉄の優先席付近における携帯電話使用マナーの変更	
12. 4		鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス時刻の延長の試行実施	

年月日		主要事項	
平成28年 (2016)	2. 24	複数面のデジタルサイネージによる「名古屋駅スクエアビジョン広告」の運用開始	
	3. 16	交通局公式ウェブサイトのリニューアル	
	4. 1	市バスの運行支援システム全車運用開始 駅業務委託開始(東山線:八田駅・中村公園駅・中村日赤駅・本陣駅・亀島駅) 精神障害者への割引料金の適用 なごや市バス・地下鉄応援寄附金の募集開始	
	5. 1	地下鉄名古屋駅におけるコンシェルジュの配置	
	7. 1	東山線の一部ワンマン運転化の実施 運転と駅務の兼務化実施(東山線運転区:池下駅・星ヶ丘駅・藤が丘駅) 英語版「なごや得ナビ」冊子の発行	
	7. 4	女性専用車両の路線拡大(名城線・名港線、平日の始発から午前9時まで)	
	9. 1	敬老バス、福祉特別乗車券(児童福祉施設入所児童等)のICカード化	
	11. 1	福祉特別乗車券(身体・知的・精神障害者等)のICカード化	
	12. 2	鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス時刻の延長の本格実施	
	平成29年 (2017)	2. 14	ハート型つり革をつけた「ハート♡バス」の運行(～30.2.14)(2.11 プレイイベント実施)
		3. 1	市バス「黒川11系統(黒川～北部市場)」を県営名古屋空港まで延伸する社会実験
		3. 31	市バス全車両ノンステップバス化
4. 1		名古屋駅バスターミナルへの市バスの乗入れ及び都心ループバスの大須地区への延伸	
5. 20		駅ちかウォーキング参加者40万人突破セレモニー実施	
7. 1		東山線の完全ワンマン化実施	
7. 1		運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:ナゴヤドーム前矢田駅、鶴舞線運転区:赤池駅)	
8. 2		IC敬老バス更新事務の受託業務開始	
10. 1		1日乗車券の紙券化	
11. 1		優先席付近へのヘルプマークステッカーの掲出	
11. 5		地下鉄開業60周年記念メインイベント in 藤が丘工場の実施	
平成30年 (2018)	1. 4	平針運転免許試験場建替え工事による市バスの増強運行	
	3. 14	地下鉄にてマナカのオートチャージサービス開始	
	3. 26	名古屋ことばによる駅構内放送 名古屋城をモチーフにした市役所駅の装飾	
	4. 14	体験型謎解きゲームの開催(～30.9.2)	
	5. 1	同伴幼児の無料人数を保護者1人につき2人から4人へ拡大	
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:砂田橋駅、桜通線運転区:中村区役所駅)	
	10. 16	新たな市バス・地下鉄乗車マナー啓発ポスター～あなたとわたしでほっこり乗ろう～の掲出開始	
平成31年 (2019)	2. 12	市バス港明営業所の開所	
	3. 25	「栄噴水南バスターミナル」の閉鎖に伴うバス停の移転	
	3. 28	「名古屋市営交通事業経営計画2023」の策定	
	4. 1	運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:瑞穂運動場東駅、鶴舞線運転区:庄内緑地公園駅)	
	4. 22	交通局公式Instagram、Facebookの開始	
令和元年	5. 27	地下鉄全線24時間券の発売、地下鉄一日乗車券の販売終了	
	10. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の料金改定	
	11. 2	市バス90周年記念イベントの開催	
	12. 11	駅ナカ商業施設「ヨリマチFUSHIMI」開業	

年 月 日		主 要 事 項
令和2年 (2020)	5.25	地下鉄名城線・名港線可動式ホーム柵稼働
	7.21	地下鉄マナー啓発ポスター作品募集
	8.31	新しい生活様式に対応したウォーキング開催
	10.17	バス運転士（大型二種免許未取得者対象）採用選考（一次）の実施
	11. 1	地下鉄マナー啓発ポスター入選作品を展示した電車の運行及び入選作品の駅への展示
	11.16	名古屋市観光周遊セット券の発売
	11.30	マナカ10周年ありが10(とう)キャンペーン実施
	12.24	幸せを呼ぶ黄色い地下鉄「イエロートレイン」運行
令和3年 (2021)	3.25	名古屋市交通局採用サイト（バス運転士 地下鉄駅務員 技術員）の開設
	3.27	市バス・地下鉄車両に抗ウイルス加工の実施
	4. 1	市バス沿線フォトコンテストの開催（千種・昭和区編）
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：平安通駅、鶴舞線運転区：浄心駅、桜通線運転区：野並駅）
	7.19	市営交通100周年記念事業の愛称 キャッチコピー ロゴマークを公表
	8. 1	100年祭サイト・Twitterを開設 100周年PR動画・オンライン仕事見学を公開 仕事紹介ポスターを掲出
	8.15	駅職員が「鯨の大祭典（名古屋グランパス）・市営交通100周年コラボTシャツ」を着用
	8.22	オンラインイベント「まるごと名古屋の交通局」を開催
令和4年 (2022)	2.15	クレジットカード対応券売機を導入
	4. 1	特得60バス定期の制度変更
	4. 2	高速1系統の廃止
	4.11	ウィンザーイエローを再び! 『黄電復活』応援プロジェクトクラウドファンディングの実施（～6.30）
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：市役所駅、新瑞橋駅、鶴舞線運転区：丸の内駅、桜通線運転区：徳重駅）
	7. 6	市バス・地下鉄職員が「市営交通100周年×名古屋グランパスクラブ30周年コラボポロシャツ」を着用
	7.11	昭和にタイムスリップ!? 復刻デザイン『レトロカラーバス』応援プロジェクトクラウドファンディングの実施（～9.30）
	8. 1	市営交通100周年 「黄電メモリアルメモリアルトレイン」（東山線）運行開始（～5.1.22）（名城線は8.8開始（～5.1.29）） 市営交通100年祭お誕生日会の開催
	9.17	地下鉄東山線ダイヤ改正
	10.27	名古屋駅、栄駅、市役所駅にレゴ®ブロックで製作した地下鉄案内図の設置（東山公園駅は12.5に設置）
	11.12	市営交通100年祭メインイベント『100YEARS FESTIVAL!!』開催 名古屋市交通局ロゴマークの制定
	11.13	「レトロカラーバス」運行開始（運行終了はバス車両で異なる）
	12. 1	制服の変更

年 月 日		主 要 事 項
令和5年 (2023)	1. 4	中村区役所を太閤通に、市役所を名古屋城に、伝馬町を熱田神宮伝馬町に、神宮西を熱田神宮西に駅名変更
	3.14	名古屋駅・栄駅・金山駅に旅行者向け券売機を導入
	3.17	名古屋市立大学と包括連携協定の締結
	3.25	東山線1編成へ車内デジタルサイネージ広告の設置（順次残りの20編成へ設置）
	4. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：大曾根駅、桜通線運転区：桜山駅） 燃料電池バス基幹1系統運行開始（試行導入）
	7. 1	マナカマイレージポイントの制度変更
	9. 8	市バス・地下鉄101か所スタンプラリー開催
令和6年 (2024)	9.16	アクティブシニアキャンペーン開催 地下鉄桜通線ダイヤ改正
	9.26	地下鉄金山駅に簡易型ベビーケアルームを設置
	3. 1	地下鉄名古屋駅、栄駅、金山駅に地下鉄運行情報提供大型モニターを導入
	3.16	地下鉄鶴舞線及び上飯田線のダイヤ改正
	3.25	「名古屋市営交通事業経営計画2028」策定
令和7年 (2025)	4. 1	東山線N1000形21編成で「ナゴヤサブウェイビジョン」による広告放映開始
	6. 1	スマホでウォークスタンプラリー開催
	7.12	「市バスでPetit旅」開催
	8. 1	「やみつきなごめしきつぷ」発売
	10.14	地下鉄鶴舞線可動式ホーム柵稼働
	12.13	「名城線環状化20周年記念スタンプラリー」開催
	1.22	「なごやヒストリカルウォーク」実施
	2.12	子ども向け特設ウェブサイト「ハッチーキッズサイト」開設
3.29	地下鉄東山線のダイヤ改正	
3.31	市営交通資料センター閉館	



名古屋市交通局

Transportation Bureau City of Nagoya

 名古屋市交通局ウェブサイト

<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/>



 名古屋市交通局ハッチーキッズサイト

<https://www.kids.kotsu.city.nagoya.jp/>



SNS 情報



X



運行情報 X



Instagram



Facebook



YouTube

編集・発行

名古屋市交通局営業本部総務部広報広聴課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 052-972-3809 FAX 052-972-3849

印刷: 株式会社鈴活印刷

発行年月: 令和7(2025)年7月

発行部数: 1,200部